

平成 30 年度実施分
協働事業・市民活動助成事業 報告書

目 次

■平成30年度実施分 協働事業

No.	区分	事業名	実施団体・担当課	ページ
1	2年目	子どもたちがつくる青少年会館 居場所事業	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行 委員会 生涯学習推進課青少年会館	1
2	新規	災害時要配慮者支援事業	小金原連合町会防災部 危機管理課	13
3	新規	公共サイン改善事業	公共サイン研究会 都市計画課	25

■平成30年度実施分 市民活動助成事業

No.	区分	事業名	実施団体	ページ
■スタート助成				
1	新規	こども福祉フェスタ事業	Familink *	35
2	新規	食を通じての多世代交流事業	小金ほのぼの食堂の会	43
3	2回目	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	51
4	新規	「甚左衛門の森」保全育成事業	松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」	57
5	新規	世代を超えた交流ができる地域コミュニティの場をつくる事業	明地区こあら食堂の会	65
6	新規	地域猫ってなんだろう？ 野良猫トラブルなくそう事業	動物福祉団体いのち	73
7	2回目	音楽活動によるまちの活性化事業	松戸合唱まちづくり同好会	79
8	2回目	無塩パン普及事業	数値調理会	85
9	新規	子供の居場所からの発信による地域ネットワーク構築事業	さくら広場の会	91
10	新規	シニア世代生き生き地域資源マップ作り事業	ほっとする街を考える会kinari	97
■ステップアップ助成				
1	新規(スタート2回済)	「笑顔のお節介推進活動」事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	103

平成30年度協働事業一覧

No.	区分	事業名	団体名	担当課	予算額		決算額	精算額
					総事業費	負担金申請額		
1	2年目	子どもたちがつくる青少年会館居場所事業	だいき松戸！子どもフェスティバル実行委員会	生涯学習推進課青少年会館	¥213,000	¥190,000	¥213,106	¥0
2	新規	災害時要配慮者支援事業	小金原連合町会防災部	危機管理課	¥800,000	¥500,000	¥646,335	¥0
3	新規	公共サイン改善事業	公共サイン研究会	都市計画課	¥155,860	¥140,000	¥153,241	¥7,678

子どもたちがつくる
青少年会館居場所事業

だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会

生涯学習推進課青少年会館

活動状況報告書

1 事業名称 子どもたちがつくる青少年会館居場所事業

2 実施主体

■ 団体名： だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会

従事者数： 3名（企画運営）

ほか、当日ボランティア延べ人数110名、協力団体数10

団体概要：

だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会は、市内の子どもの育ち・学びに関連するNPOのネットワーク組織で、これまで秋を中心に18回、小学生を対象にした遊びと、中学生～学生世代のボランティアマッチングをしたフェスティバルを、青少年会館と共に開催してきた。

■ 事業担当課： 生涯学習推進課 青少年会館

3 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

全体企画・運営（当日）

ボランティアコーディネート

活動消耗品の手配

チラシ・ポスター等広報物作成

事業報告書制作

■ 担当課の役割

参加者受付・集計

文化祭用看板関連材料提供

スポーツ・アートの会館利用団体の紹介・講師協力調整

チラシ等の簡易印刷

アンケート等集計

会場確保

4 事業の内容

I 子どもに関わる担い手育成プログラム（当日実施分）

日付	作業内容
7/29	（連携事業）担い手脱出ゲーム体験 「ある呪われた青少年会館からの脱出」 会場＝青少年会館



8/5, 16, 24

担い手講座・脱出ゲーム制作

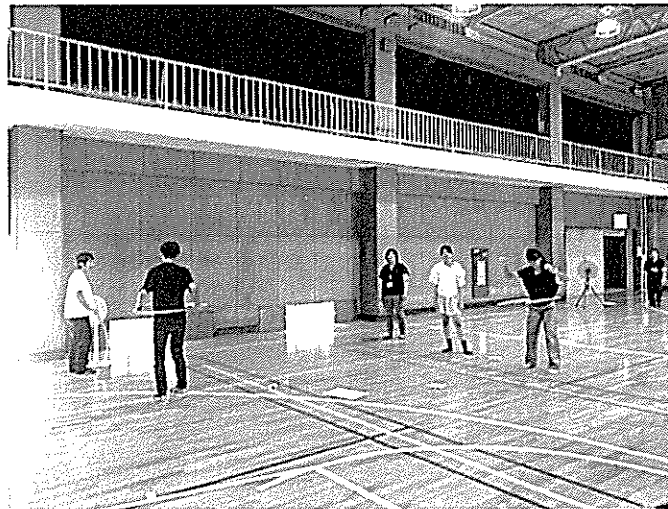
会場＝青少年会館、講師＝CHIE の輪・阿部氏



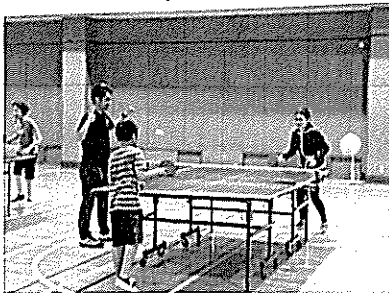

8/25

小学生向け脱出ゲーム実施

会場＝青少年会館



Ⅱ 子どもとの体験プログラム&ロビーワーク（当日実施分）

日 付	作 業 内 容	
7月～8月 (計15日)	夏休み体験プログラム (17プログラム) ※下記小学生向け脱出ゲーム除く <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	
実施日	プログラム	団体名
7/20	体操&ダンス	健康体操 ホップステップ
7/25	バドミントン	バドミントンサークル
7/27	バドミントン	バドミントンサークル
8/1	折り紙	折り鶴の会
8/1	空手	真士会
8/3	オカリナ	スイートピー
8/5	みんなで遊ぼう！	こばてい
8/8	バレーボール	いわさきバレーボールクラブ
8/10	バスケットボール	新松戸バスケットボールクラブ
8/14	点字いりマイ名刺を作ろう！	NPO法人子どもっとまつど
8/16	エコおもちゃを作ってあそぼう！	エコトンボの会
8/18	昆虫に詳しくなろう！	NPO法人スポーツ&文化振興協会
8/21	卓球	卓美会
8/23	折り紙	折り鶴の会
8/23	紙芝居・絵本	松戸子どもの文化連絡会
8/28	卓球	卓美会
8/30	チアリーディング	流通経済大学チアリーディング部 GLITTERS

8/25	<p>小学生向け脱出ゲーム実施 会場＝青少年会館</p> 
10/30～11/2	<p>文化祭「ダンボールどきどきトンネル」づくり</p> 
11/3	<p>青少年会館文化祭「ダンボールどきどきトンネル」出展</p>
12/15	<p>クリスマス会</p> 
1/31, 2/7	<p>アートパフォーマンス祭企画 「版画と色塗りでアートにチャレンジ」</p> 
2/17	<p>「陶板ピースをくみあわせて看板づくり?!」 「好きな字を、「かっこよく」書こう！」</p>

		
2/24	アートパフォーマンス祭展示出展	

※ 企画会議・準備等

日 付	作 業 内 容
4/28	打ち合わせ・ボランティア受入
5/14	夏休み企画会議
5/24	夏休み企画会議
6/2	ボランティア受入会議
6/20	文化祭企画打ち合わせ
7/18	夏休み企画会議
9/6	夏休み振り返り
9/12	文化祭企画打ち合わせ
9/21	文化祭企画打ち合わせ
10/12	文化祭企画打ち合わせ
12/4	クリスマス会打ち合わせ
12/15	クリスマス会準備・アートパフォーマンス企画会議
1/25	アートパフォーマンス祭準備
1/31	アートパフォーマンス祭準備
2/17	アートパフォーマンス祭準備

5 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

①子どもに関わる担い手育成プログラム

講座定員を50名として実施し、継続的に本事業に加わるボランティアを8名程度確保する。

・担い手育成プログラムは、7/29 青少年会館事業と連携して8月に連続して開催し、全体で延べ59名の参加があった。

・8/25 小学生プログラムに向けての参加者は10名と予定数を上回り、中高生のボランティア7名が、打ち合わせ回数3回を重ねて準備することができ、当初目標を達成した。

・本年度の協働事業では夏休み・文化祭・アートパフォーマンスまつりそれぞれの時期に若干の間が空いてしまうため、次年度ではボランティア活動の場・時期をつなげることで、より継続性を高めたい。

②子どもとの体験プログラム&ロビーワーク

定期的に参加し、興味を持つ小学生、互いの「顔が見える」関係の参加者が10人程度となるよう、支えていく。

本プログラム参加者を「青少年会館キッズメンバー」として登録、登録者全体が50人程度を目指す。

・協働事業として2年目を迎え、昨年協力いただいた団体とも積極的に良い関係・子どもたちとの関わりを生み出すことができた。

・キッズメンバーを把握するバッジの数も50人を上回る53個が出ており、延べ参加者数として458人となった。

・小学生への本事業・青少年会館自体の認知度を高めるためのプログラムとして、昨年度の飲食プログラムではなく、あえて担い手育成のユースと共に作った脱出ゲームを中心に据え、広報した。結果として、当日参加者は105名に達し、担い手と子ども両方の面で大きな成果を上げた。

・アートパフォーマンスまつりに向けては、昨年の版画体験・書道体験に加え、陶芸サークルのメンバーに協力を依頼し、陶板による看板づくりを進めた。

(2) 取り組んだ課題の現状について

①子どもに関わる担い手育成プログラム

・青少年会館事業「子どもに関わる担い手発掘事業」と連携し、中高生・ユース世代が自ら体験し、小学生へプログラム提供する、という新しい流れを作ることができた。

特に、企画過程を通じ、つながり・関係性が生まれることが参加回数が多い中高生から見受けられたため、これを通年・継続的な関わりにしていく工夫を今後図っていく。

②子どもとの体験プログラム&ロビーワーク

・スポーツテーマ・アートテーマ共に、青少年会館利用団体・社会教育団体の協力を得ることで、子どもたちに良い体験を届けつつ、利用団体メンバーと子どもたちの関係づくりを図ることができた。

・共同制作テーマでは、版画体験・書道体験の成果をアートパフォーマンスまつりで昨年同様展示することに加え、クリスマス会で作った陶板で看板をアートパフォーマンスまつりに向けて2回で制作した。クリスマス会に参加した子どもが2月のワークにも参加してくれるなど、時期をまたいでの連携を実現することができた。

・昨年度の子どもたちの声・反応から、今年度も利用団体から積極的な協力を得ることができ、協働事業での大きな成果を生み出している。

6 今後の事業展開

子どもとの体験プログラム&ロビーワークにおいては順調で、特に会館利用団体（社会教育関係団体）と子どもたちとの関係性や、青少年会館職員・本事業スタッフを含め、子どもたちとの関係性が徐々に進展している。

担い手育成については、今年度脱出ゲーム制作というアイデアに集中した結果、中学生以上のメンバーにとって関わり方が明確になり、参加意欲を引き出す事ができた。人数の拡大・定着に向けて、引き続き H31 年度協働事業に取り組んでいく。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 327,538	¥ 291,332	¥ 36,206	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	子ども実費負担	¥ 23,000	¥ 8,400	¥ 14,600	200円×42人、クリスマス会
	団体拠出金	¥ 0	¥ 14,706	¥ ▲14,706	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 23,000	¥ 23,106	¥ ▲106	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 190,000	¥ 190,000	¥ 0	←積算額
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 213,000	¥ 213,106	¥ ▲106	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	研修会（脱出G制作）講師謝金
		¥ 15,000	¥ 23,000	¥ ▲8,000	夏休み企画協力団体…市内9団体、遠方（龍ヶ崎）1団体
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 41,198	¥ 8,802	コピー用紙・付箋紙・複写紙等事務用品、展示用テープ・紙テープ等（領収書に明細記載）
		¥ 10,000	¥ 6,454	¥ 3,546	クリスマス会当日用品（調理体験・食材）
		¥ 20,000	¥ 35,743	¥ ▲15,743	陶芸釉薬等 14,800、マーカーセット・布テープ・色画用紙・ハサミ等 20,943
	食糧費	¥ 10,000	¥ 10,521	¥ ▲521	夏休み講師・ボランティア用お茶、脱出G準備WS菓子、脱出G制作Voふりかえり交流会
	印刷製本費	¥ 78,000	¥ 66,190	¥ 11,810	夏休み企画 2種・25,410、文化祭・クリスマス・アート企画 38,965、資料 1,815
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 213,000	¥ 213,106	¥ ▲106	
（その他経費）				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 213,000	¥ 213,106	¥ ▲106	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

積算額	¥ 0
-----	-----

団体名 だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会
 代表者氏名 実行委員長
 渡辺 洋子

収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科目	金額	内訳	摘要
団体	子ども実費負担	¥ 8,400		200円×42人、クリスマス会
	団体拠出金	¥ 14,706		
	自己資金の合計額	¥ 23,106		
市	松戸市負担金	¥ 190,000		
	合計額	¥ 213,106		

【事業費の支出額】

	科目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000		研修会（脱出G制作）講師謝金
		¥ 23,000	1000×2名×9団体 +5000×1団体	夏休み企画協力団体…市内9団体、遠方（龍ヶ崎）1団体
	消耗品費	¥ 41,198		コピー用紙・付箋紙・模造紙等事務用品、展示用テープ・紙テープ等（領収書に明細記載）
		¥ 6,454		クリスマス会当日用品
		¥ 35,743		クリスマス会・アートパフォーマンス制作資材（陶芸釉薬等 14,800、マーカーセット・布テープ・色画用紙・ハサミ等 20,943）
	食糧費	¥ 10,521	お茶・3836 WS菓子・4113 中高生交流・2572	夏休み講師・ボランティア用お茶、脱出G準備WS菓子、脱出G制作Voふりかえり交流会
	印刷製本費	¥ 66,190		夏休み企画 2種・25,410、文化祭・クリスマス・アート企画 38,965、資料 1,815
	対象経費の合計	¥ 213,106		
その他経費				
	その他経費の合計	¥ 0		
	合計額	¥ 213,106		

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間×回数×842円
	会館との打ち合わせ（15回）	52,204 円	1 人 × 1 h × 62 回 × 842 円 各回によって、人数(1~3人)および時間(1~3h)が異なるため、1人1hとして延べ回数で計算
	夏休み子ども活動日（単独）	22,734 円	3 人 × 3 h × 3 回 × 842 円
	夏休み子ども活動日（連携）	60,624 円	2 人 × 3 h × 12 回 × 842 円
	夏休み脱出ゲーム企画	22,734 円	3 人 × 3 h × 3 回 × 842 円
	夏休み脱出ゲーム当日	35,364 円	6 人 × 7 h × 1 回 × 842 円
	文化祭・アート子ども活動日	35,364 円	2 人 × 3 h × 7 回 × 842 円
	文化祭ダンボールトンネル当日	11,788 円	2 人 × 7 h × 1 回 × 842 円
	クリスマス会	20,208 円	8 人 × 3 h × 1 回 × 842 円
	チラシ制作	10,104 円	1 人 × 6 h × 2 回 × 842 円
	報告書制作	20,208 円	2 人 × 4 h × 3 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
		人 × h × 回 × 円	
		人 × h × 回 × 円	
		人 × h × 回 × 円	
		人 × h × 回 × 円	
		人 × h × 回 × 円	
合 計 (A)	291,332 円		

災害時要配慮者支援事業

小金原連合町会防災部

危機管理課

活動状況報告書

1 事業名称 災害時要配慮者支援事業

2 実施主体

■ 団体名： 小金原連合町会防災部

従事者数： 8名

女性部会：18名（オブザーバー参加、特別参加は除く）
尚、小金原地区防災フェアには、スタッフとして防災部に所属する小金原連合町会の各自治会・町会の防災リーダーも参加。

団体概要：平成28年度に小金原連合町会の中に防災部を組織し、それまでの防火主体の訓練に代えて、以降の防災訓練では、「千葉県立松戸特別支援学校」の関係者（職員、父母会、卒業生）にも参加をいただき、福祉を考える必要性を具現化させている。「専門職部会」、「女性部会」、「避難所部会」、「災害福祉部」の組織化を進めており、平成30年度は、危機管理課と共に、松戸市との協働事業「災害時要配慮者支援事業」を推進している。

■ 事業担当課： 危機管理課

3 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

- ・平成30年9月8日（土）開催の「小金原地区防災フェア」の開催に向けて、小金原連合町会（18町会）への事前説明会開催、チラシ作成、前日準備、当日運営
- ・平成30年12月1日（土）開催のシンポジウム（第1回）「災害時における要配慮者支援と地域連携」での内容検討、基調講演者・パネラーの人選及び日程調整、会場確保、チラシ作成及び当日運営
- ・平成31年3月16日（土）開催のシンポジウム（第2回）「続 災害時における要配慮者支援と地域連携」での内容検討、基調講演者・パネラーの人選及び日程調整、会場確保、チラシ作成及び当日運営
- ・関係会議の開催（開催案内・連絡、会場確保）
- ・要配慮者支援のチラシ内容検討及び作成

■ 担当課の役割

- ・「専門職部会」開催のための事業所訪問
- ・災害時における要配慮者受け入れ等の支援・協力に関するアンケート調査実施及び集計

- ・平成30年9月8日（土）開催の「防災フェア」における協力及び講評
- ・平成30年12月1日（土）開催のシンポジウム（第1回）「災害時における要配慮者支援と地域連携」への出席。
- ・平成31年3月16日（土）開催のシンポジウム（第2回）「続 災害時における要配慮者支援と地域連携」への出席。
- ・関係会議の開催（開催案内・連絡、会場確保）
- ・「要配慮者支援会議」での関係部局への出席協力依頼
- ・要配慮者支援のチラシ内容検討

4 事業の内容

I 平成30年度「小金原地区防災フェア」の実施

日 付	作 業 内 容
4月26日（木）	防災部の会議開催。平成30年度活動計画に関する情報共有会議、「小金原地区防災フェア」の内容に関する検討 小金原市民センター 会議室
4月27日（金）	危機管理課と「平成30年度松戸市協働事業」の進め方につき打ち合わせ。 危機管理課 会議室
6月6日（水）	防災部、「小金原地区防災フェア」第1回実行委員会を開催。 小金原市民センター 会議室
6月23日（土）	防災部、「小金原地区防災フェア」第2回実行委員会を開催。 小金原市民センター 和室
7月5日（木）	小金原連合町会関係者（各自治会長・町会長、防災リーダー）に「小金原地区防災フェア」の内容説明会。 小金原市民センター ホール 参加者：35名
7月19日（木）	「小金原地区防災フェア」に関するチラシの作成につき打ち合わせ 聖徳大学内 渡辺氏（デザイナー） 12,000枚作成し、小金原地区の全世帯に戸配。
7月28日（土）	防災部、「小金原地区防災フェア」第3回実行委員会を開催。 小金原市民センター 会議室。
8月11日（土）	小金消防署を訪問。「小金原地区防災フェア」での起震車出動、AED研修などの依頼。
9月7日（金）	「小金原地区防災フェア」役割担当者による事前準備、役割分担の再確認。 参加者：約30人
9月8日（土）	「小金原地区防災フェア」開催。小金原体育館。参加者：約800人（高齢だが元気に参加されている人を除き、知的障がい者、車イス利用、耳の不自由な人の団体、杖をついた人など、要配慮者の参加は約20人）

Ⅱ 第1回講演会の実施

シンポジウム「災害時における要配慮者支援と地域連携」

日 付	作 業 内 容
10 月	講師、パネラー、司会者への依頼調整
11月8日(木)	チラシの企画作成。13,000枚を作成し、小金原地区の全世帯に戸配。
12月1日(土)	講演会開催 小金原6丁目7番住宅組合会館 基調講演「災害福祉について ―西日本豪雨災害を事例として―」 講師：名取直美さん（富士通総研チーフシニアコンサルタント）。パネラー：島根明さん（社会福祉法人三誠会 理事 施設長）、橋本めぐみさん（社会福祉法人彩会 本部事務局長）、石田尚美さん（NPO法人松戸子育てさぼーとハーモニー理事長）、浅沼真理子さん（小金原高齢者いきいき安心センター長）、名取直美さん（上記参照）。司会：和田忠志さん（松戸医師会防災担当理事、いらはら診療所／在宅医療部長）。参加者約80人（講師、役割担当者含む）

Ⅲ 第2回講演会の実施

シンポジウム「続・災害時における要配慮者支援と地域連携」

日 付	作 業 内 容
1 月	講師、パネラー、司会者への依頼調整
2 月	チラシの企画作成。13,000枚を作成し、小金原地区の全世帯に戸配。
3月16日(土)	講演会開催 小金原6丁目7番住宅組合会館 基調講演「要配慮者支援に期待される地域連携」 講師：須田仁さん（聖徳大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 准教授）。パネラー：橋本めぐみさん（社会福祉法人彩会 本部事務局長）、石田尚美さん（NPO法人松戸子育てさぼーとハーモニー理事長）、浅沼真理子さん（小金原高齢者いきいき安心センター長）、東脇ゆう子さん（(株)アース看多機サポテン 主任介護支援専門員）。司会：和田忠志さん（松戸医師会防災担当理事、いらはら診療所／在宅医療部長）。参加者約40人（講師、役割担当者含む）

IV 「要配慮者支援会議」の活動実施

日 付	作 業 内 容
11月19日(月)	松戸市役所管内の「防災」、「高齢者福祉」、「こども」関係部署の参加による「要配慮者支援会議」を開催。 小金原体育館 会議室A 参加者16名：地域福祉課、健康推進課（小金保健福祉センター）、高齢者支援課、介護保険課、障害福祉課、子ども政策課、こどもわかもの課、子ども家庭相談課、幼児保育課（小金原保育所）、危機管理課、小金原連合町会防災部
3月29日(金)	第2回「要配慮者支援会議」開催 小金原6丁目7番住宅組合 会館 新たに、男女共同参画課にも参加いただき、女性の視点で防災を考えることの重要性を共有する良い機会となった。 参加者17名：男女共同参画課、地域福祉課、健康推進課、高齢者支援課、介護保険課、障害保険課、子ども政策課、子育て支援課、子ども家庭相談課、幼児保育課（小金原保育所）、危機管理課、小金原連合町会防災部

V 「専門職部会」の活動実施

日 付	作 業 内 容
6月4日(月)	居宅介護施設「せらび小金原公園」（小金原4丁目）訪問、今後の取り組みにつき打ち合わせ
8月22日(水)	第1回専門職部会開催(7名参加) 参加者：マーシーヒル、旭神経内科、いらはら診療所、危機管理課、小金原連合町会防災部 小金原市民センター 会議室
9月	介護等事業者に向けて、災害時における専門職と地域との連携の重要性を訴求し、「災害時の協力に関するアンケート」調査実施。8件の回答有り。(いらはら診療所、旭神経内科、マーシーヒル、楓、そら、せらび小金原公園、彩会喜楽家、小金原診療所)
1月24日(木)	危機管理課と第2回専門職部会の進め方につき打ち合わせ
1月28日(月)	第2回専門職部会(12名参加) 参加者：旭神経内科、マーシーヒル、喜楽家、デイサービスグリーン、そら、晴香園、楓、リバーサイド、危機管理課、小金原連合町会防災部 小金原市民センター 和室

VI 「女性部会」の活動実施

日 付	作 業 内 容
6月6日(水)	防災部、「小金原地区防災フェア」第1回実行委員会に同席。 小金原市民センター 会議室
6月23日(土)	防災部、「小金原地区防災フェア」第2回実行委員会に同席。 小金原市民センター 和室
12月26日(水)	女性部会開催 12名参加(オブザーバー含む) 小金原市民センター 会議室
1月30日(水)	聖徳大学との「防災と地域連携」に関する情報交換。 内容:聖徳大学学生による「自然災害への備えと対策 ー女性と福祉の視点からー」プレゼンテーション 小金原市民センター 会議室

VII 「避難所部会」の活動実施

日 付	作 業 内 容
4月27日(金)	県立松戸特別支援学校訪問、打ち合わせ。 支援学校の体育館を使った「防災訓練」を打診するも、支援学校が創立50周年ということで、記念行事で手が回らない状況であることが分かった。
7月17日(火)	県立松戸特別支援学校訪問、打ち合わせ。 伊藤校長先生、新泉教頭先生。 「小金原地区防災フェア」の概要説明と参加協力依頼。
7月24日(火)	県立松戸特別支援学校訪問、打ち合わせ。 「小金原地区防災フェア」での役割分担の確認。 障がい者スポーツ「ボッチャ」のコーナーを設ける等。
	根木内地区の人選を進めているが、一旦決まった担当者が病気のため、その後の候補者を模索中。活動が滞ってしまった。

VIII 「災害福祉部会」の活動実施

日 付	作 業 内 容
	昨年度(平成30年2月21日)に小金原地区社会福祉協議会との打ち合わせをするも、地区社協の中での人選が難しく、懸案事項として残っている。

IX 「要配慮者の支援について」のチラシ作成

日 付	作 業 内 容
3月	「要配慮者の支援について」のチラシを10,000枚作成。要配慮者の方やご家族の皆様へとして、「平時から遠慮なく助けを求めて下さい！」と呼び掛けるチラシの内容とした。

5 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

1	<p>防災活動における福祉の大切さを訴求するため、講演会を開催する。</p> <p>災害時における要配慮者支援における問題点や、要配慮者支援を円滑に進めるため地域連携が必要であることを訴求するため12/1（土）にシンポジウム「基調講演：災害福祉について —西日本豪雨災害を事例として—」を開催した。シンポジウムでは外部より講師を招き基調講演を行い、併せて、市内の要配慮者支援に関係する事業所の方々とパネルディスカッションを行った。シンポジウム参加者からは要配慮者支援についての重要性について学ぶことができたとの声を頂いている。</p> <p>3/16（土）に、2回目のシンポジウム「基調講演：要配慮者支援に期待される地域連携」を開催。前回に続き、防災活動における福祉の大切さを啓発することができた。12/1（土）、3/16（土）と2回開催し、120名の参加があり目標を達成。</p>
2	<p>要配慮者支援会議を開催し、地域社会に防災を見据えた福祉のつながりを形成する。</p> <p>行政内部の連携を強化するため要配慮者支援に関係する各課及び小金原連合町会防災部が一堂に会し会議を開催。各部局の要配慮者支援に関する取り組みや、支援についての悩みなどを共有できた。町会の要配慮者支援に関する悩みや行政の取り組みを共有することにより、要配慮者支援の必要性を認識することができた。</p> <p>11/19（月）、3/29（金）に開催し、「必要に応じて数回」の目標を達成。</p>
3	<p>一般の人でも理解しやすい要配慮者支援のチラシを作成。（10,000枚）</p> <p>要配慮者の方に、「平時から遠慮なく助けを求めて下さい！」と呼び掛ける記載をし、相談先として、近所の方、町会・自治会の役員、高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）、高齢者相談員、民生児童委員、防災リーダーを示した。</p> <p>「チラシ作成枚数10,000枚」の目標を達成。</p>
4	<p>小金原地区にある「千葉県立松戸特別支援学校」（松戸市が二次福祉避難所に指定）に対し、福祉避難所運営への支援と、学校主催の防災訓練への協力。</p> <p>特別支援学校においては福祉避難所開設運営委員会立ち上げについての了解を得た。福祉避難所の開設においては行政、町会、専門職の方々による協力が不可欠であることから専門職部会において要配慮者のケアをしている方々の意見を聴取。運営委員会の設置には至らなかったものの、今後は運営に必要な事項、委員の選任を実施し委員会を立ち上げる予定。</p> <p>4/27（木）、7/24（火）の会議開催で、「2回開催」の目標を達成。</p>
5	<p>福祉関連の研修会開催（DWAT（災害福祉支援チーム）要員の育成）</p> <p>小金原要配慮者支援会議、シンポジウム、4つの部会により集約した意見を参考に</p>

DWAT 編成について検討した。要配慮者支援に関する講習会を開催し作成したチラシを有効に配布する予定。

「研修会開催 2 回」が目標であったが、未達。ただし、上記「1」の項で記載した 2 回のシンポジウムで、「災害時における要配慮者への対応で気を付けなくてはいけない点」につき、学ぶ機会があった。

6 小金原 DWAT（災害福祉支援チーム）を組織化

目標は、「DWAT 10 チーム」。

DWAT のチームとして、「専門職と地域住民とを合わせたチーム」作りが必要であるが、専門職部会の会議開催での専門職の協力を得るための基盤づくりで終わり、未達となった。

(2) 取り組んだ課題の現状について

- ・行政内部の災害時要配慮者支援に係る意識向上を図ることができた。
- ・町会、専門職の方々の意見を聞くことができ、支援に必要な項目を洗い出すことができた。
- ・平時から業務を行う専門職の方々にどのように地域と連携してもらうか、又、災害時にどのタイミングで地域の支援を行ってもらうかが課題として出てきた。

6 今後の事業展開

行政、町会、専門職とそれぞれ立場が違う中で足並みを揃え支援を行う必要がある。核となるのは DWAT の編成を確立し、平時から災害時の役割を小金原全体で共有することが目標となる。今後においては、専門職部会での意見を参考に DWAT 加入に協力的な事業所、町会に呼び掛けを行うと共に、チーム編成を行う。最終的には地域の防災訓練で DWAT による安否確認訓練や避難所への移送訓練を実施する。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 488,360	¥ 582,664	¥ ▲94,304	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 61,000	¥ 146,335	¥ ▲85,335	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 61,000	¥ 146,335	¥ ▲85,335	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ < 500,000	¥ 0	←積算額
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 561,000	¥ 646,335	¥ ▲85,335	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 200,000	¥ / 170,000	¥ 30,000	第1回シンポジウム (30,000円×1名、10,000円×4名) 第2回シンポジウム (30,000円×2名、10,000円×4名)
	使用料	¥ 10,000	¥ / 9,815	¥ 185	会議室使用料9,515円、駐車場使用料300円
	消耗品費	¥ 150,000	¥ / 197,255	¥ ▲47,255	防災グッズ150,000円、プリンターインク代31,109円、防災フェア 消耗品 (レジ袋、チャック付ポリ袋、ごみ袋など) 9,010円、事務 用品代4,636円、研修資料費 (武蔵野地域防災活動ネットワーク 15周年記念誌5冊) 2,500円
	通信費	¥ 10,000	¥ / 9,374	¥ 626	郵送料9,374円 (184+328+945+1,007+530+820+2,800+2,760)
	印刷製本費	¥ 180,000	¥ / 171,325	¥ 8,675	防災フェアチラシ31,060円、第1回シンポジウムチラシ40,000円、 第2回シンポジウムチラシ33,000円、要配慮支援チラシ24,129円、 記録用DVD製作20,000円、コピー代23,136円
	保険料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	他の保険で担保されていたため使用せず。
	食糧費	¥ 1,000	¥ 689	¥ 311	第1回シンポジウム講師/パネラーお茶代
				¥ 0	
		対象経費の合計 (E)	¥ 561,000	¥ 558,458	¥ 2,542
	食糧費	¥ 0	¥ 82,917	¥ ▲82,917	7/5:6,531円、9/7:4,354円、9/8:72,032円
	振込手数料、交通費	¥ 0	¥ 4,204	¥ ▲4,204	ガソリン代:2,800円、振込手数料:1,404円 (648+324+216+216)
	消耗品費	¥ 0	¥ 756	¥ ▲756	コピー用紙432円、封筒:324円 (領収書不備のため対象外経費に計上)
		その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 87,877	¥ ▲87,877
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 561,000	¥ 646,335	¥ ▲85,335	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

積算額	¥ 0
-----	-----

団体名 小金原連合町会防災部

代表者氏名 防災部長 所 正明

収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科目	金額	内 訳	摘 要
団体	団体拠出金	¥ 146,335		事業費の一部を拠出
	自己資金の合計額	¥ 146,335		
市	松戸市負担金	¥ 500,000		
	合計額	¥ 646,335		

【事業費の支出額】

科目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の 交付対象経費	報償費	¥ 170,000	12/1第1回シンポジウム70,000円 3/16第2回シンポジウム100,000円 第1回シンポジウム：名取直美さん辞退、和田忠志さん：30,000円、島根明さん10,000円、橋本めぐみさん10,000円、石田尚美さん10,000円、浅沼真理子さん10,000円 第2回シンポジウム講師：須田仁さん30,000円、和田忠志さん30,000円、橋本めぐみさん10,000円、石田尚美さん10,000円、浅沼真理子さん10,000円、東脇ゆう子さん10,000円
	使用料	¥ 9,815	会議室使用12回、駐車場1回 小金原市民センター会議室（和室を含む）7回 （378+294+378+378+518+567+532）、小金原体育館会議室2回（840+630）、小金原6丁目7番住宅組合会議室3回（2,000+2,000+1,000）、駐車場1回（300）
	消耗品費	¥ 197,255	防災グッズ（便袋1,000個）150,000円、プリンターインク代31,109円、消耗品（レジ袋、チャック付ポリ袋、ごみ袋など）9,010円、事務用品代4,636円、研修資料費2,500円 防災グッズ（防災フェアで配布の便袋1,000個）150,000円、プリンターインク代31,109円、防災フェア消耗品（レジ袋、チャック付ポリ袋、ごみ袋など）9,010円、事務用品代4,636円、研修資料費（武蔵野地域防災活動ネットワーク15周年記念誌5冊）2,500円
	通信費	¥ 9,374	81通の郵便物の郵送料及び切手代 郵送料①：2通@92=184円 郵送料②：4通@82=328円 郵送料③：1通@485 郵送料④：5通@92=460円 郵送料⑤：6通@92=552円 郵送料⑥：1通@205 郵送料⑦：1通@250 郵送料⑧：1通@530=530円 郵送料⑩：10通@82=820円 郵送料⑪：20通@140=2,800円 郵送料⑫：30通@92=2,760円
	印刷製本費	¥ 171,325	防災フェアチラシ12,000枚作成（小金原地区住民に戸配）、第1回シンポジウムチラシ13,000枚（戸配）、第2回シンポジウムチラシ13,000枚（戸配）、要配慮者支援チラシ10,000枚（各種イベントで使用） 防災フェアチラシ31,060円、第1回シンポジウムチラシ40,000円、第2回シンポジウムチラシ33,000円、要配慮支援チラシ24,129円、記録用DVD製作20,000円、コピー代23,136円
	保険料	¥ 0	他の保険で担保されていたため使用せず。
	食糧費	¥ 689	12/1、第1回シンポジウム講師/パネルお茶代（6本）689円 第1回シンポジウム（名取直美さん、和田忠志さん、島根明さん、橋本めぐみさん、石田尚美さん、浅沼真理子さんの6名分）
	対象経費の合計	¥ 558,458	
合計額	食糧費	¥ 82,917	会議等で購入したお茶 7/5：72本 9/7：48本 9/8：912本 ペットボトルお茶 7/5：6,531円、9/7：4,354円、9/8：72,032円
	振込手数料、交通費	¥ 4,204	チラシ作成時（4回）の支払いにおける振込み手数料 市役所訪問及び各打合せ時に使用する乗用車用ガソリン代 振込手数料：1,404円（648+324+216+216） ガソリン代：2,800円
	消耗品費	¥ 756	コピー用紙（500枚） 封筒（A4×10枚入り×2セット） コピー用紙432円、封筒：324円（領収書不備のため対象外経費に計上）
	その他経費の合計	¥ 87,877	
合計額	¥ 646,335		

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×842円
	防災部推進事務局企画会議	6,736 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 842 円
	「避難所部会」打ち合わせ会議	2,526 円	2 人 × 1.5 h × 1 回 × 842 円
	「女性部会」打ち合わせ会議	10,104 円	4 人 × 1 h × 3 回 × 842 円
	「専門職部会」打ち合わせ会議	23,576 円	4 人 × 3.5 h × 2 回 × 842 円
	「小金原地区防災フェア」実行委員会	23,576 円	4 人 × 3.5 h × 2 回 × 842 円
	「小金原地区防災フェア」説明会	58,940 円	35 人 × 2 h × 1 回 × 842 円
	「小金原地区防災フェア」前日準備会議	60,624 円	36 人 × 2 h × 1 回 × 842 円
	「小金原地区防災フェア」開催	303,120 円	90 人 × 4 h × 1 回 × 842 円
	小金消防署との打ち合わせ会議	3,368 円	2 人 × 1 h × 2 回 × 842 円
	危機管理課との打ち合わせ会議	6,736 円	2 人 × 1 h × 4 回 × 842 円
	「ふりかえり会議」	1,684 円	2 人 × 1 h × 1 回 × 842 円
	第1回シンポジウム「災害時における要配慮者支援と地域連携」開催(12/1)	12,630 円	5 人 × 3 h × 1 回 × 842 円
	「要配慮者支援会議」開催(3/29)	3,368 円	2 人 × 2 h × 1 回 × 842 円
	資料作成	13,472 円	2 人 × 2 h × 4 回 × 842 円
	第2回シンポジウム「続 災害時における要配慮者支援と地域連携」開催(3/16)	15,156 円	6 人 × 3 h × 1 回 × 842 円
	同上、チラシ作成(内容確認等)	3,368 円	2 人 × 1 h × 2 回 × 842 円
	専門職部会開催(3/18)	1,684 円	1 人 × 2 h × 1 回 × 842 円
	「要配慮者支援会議」開催(3/29)	5,052 円	3 人 × 2 h × 1 回 × 842 円
報告書作成	26,944 円	2 人 × 4 h × 4 回 × 842 円	
合 計 (A)	582,664 円		

公共サイン改善事業

公共サイン研究会

都市計画課

活動状況報告書

1 事業名称 公共サイン改善事業

2 実施主体

■ 団体名：公共サイン研究会

従事者数：29名

団体概要：公共サインの改善を通して松戸のまちのジャンプアップにつなげることを活動コンセプトとしている。具体的には、松戸のまちの歴史的な背景や景観といった観点から地域の特徴を掘り下げ、アイデンティティを顕在化・共有化する活動を通して、地域に合った公共サインの在り方を探る活動を行っている。

■ 事業担当課：都市計画課

3 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

①「公共サイン定期便」の企画・制作・発行・配布、

②「ワークショップ（WS）」の企画・運営、

③「基礎資料」のためのデータ作成・編集

■ 担当課の役割

①「公共サイン定期便」への寄稿・情報提供・関連協力会社への配布

②「ワークショップ（WS）」の事務局・市HPの提供（団体リンク）・当日の参加

③「基礎資料」のための情報提供

4 事業の内容

I 公共サイン定期便の発行

日付	作業内容
5月8日～22日	ホームページ、及び定期便の企画打合せ
6月11日～25日	ホームページ、及び定期便の案作成
7月27日	定期便第1号作成、都市計画課と打合せ
8月13日	定期便第1号発行
8月31日	ホームページ公開、随時更新
10月29日	定期便第2号発行
2月28日	定期便第3号発行
3月29日	定期便第4号発行

II 公共サインワークショップ

日付	作業内容
4月17日～25日	ワークショップ対象地区の住民と顔合わせ及び打合せ
5月8日～8月	ワークショップ企画打合せ、

7月9日	松戸地区の事前調査フィールドワーク実施
8月～10月	松戸・上本郷・矢切各地区と企画内容調整、日程・会場等決定
9月27日	市の広報掲載依頼（11月1日号）
9月～10月	松戸・上本郷・矢切各地区のワークショップポスター作成
10月31日～11月5日	松戸地区 住民インタビュー（計4名）
11月7日～11日	松戸地区ワークショップ@松戸3丁目自治会館；7日ポスター展示、8日座談会（12名）、10日角町自治会館出張ポスター展示、11日街歩き（4名）
11月19日	上本郷地区 住民インタビュー（計3名）
11月21日～25日	上本郷地区ワークショップ@明市民センター；21・22・24日ポスター展示、23日座談会（9名）、25日街歩き（4名）
11月27日	矢切地区 住民インタビュー（計1名）
11月26日～12月1日	矢切地区ワークショップ@矢切神社公会堂（※ポスター展示のみ市民活動サポートセンター）；26～29日ポスター展示、29日座談会（1名）、12月1日街歩き（4名）
12月13日	平成30年度ワークショップの振り返り及び31年度の方針性打合せ

Ⅲ 基礎資料作成

日付	作業内容
5月8日	基礎資料 調査内容・方法等打合せ
5月22日	机上調査開始
6月8日	松戸市景観アドバイザーと打合せ
8月31日	ワークショップでのポスター展示内容打合せ
9月～11月	展示用ポスター作成
12月13日	平成30年度基礎資料取り纏め方法打合せ
1月～3月	平成30年度基礎資料作成・取り纏め

Ⅳ 公共サイン勉強会の開催

日付	作業内容
8月16日	勉強会企画打合せ、講師への依頼
8月16日～24日	勉強会日程、会場調整
8月24日～30日	勉強会チラシ作成
8月31日～	関係者へ広報・周知
10月2日	公共サイン勉強会開催 講師：(株)カラープランニングセンター代表取締役 田邊 学 氏 (松戸市景観アドバイザー)、参加者：計17名

12月13日	平成30年度基礎資料取り纏め方法打合せ
1月～3月	平成30年度基礎資料作成・取り纏め

V その他活動

当初計画していた事業内容に加え、以下のような活動も積極的に行った。

i. 「みどりの回廊ワーキンググループ」での活動実施

平成29年度に引き続き、松戸エリアにおける様々な学生団体の連携として、地域とのより良い関係づくりと、活動の発展、持続性の向上を目的にワーキンググループとして活動を行った。主な活動内容としては、月に1回地域への活動内容の発信として「みどりの回廊通信」を発行、各団体の活動及び今後の連携について地域の方々に知っていただくためのポスター展示実施等である。

ii. 日本造園学会関東支部大会でのポスター発表

平成30年12月15日に宇都宮大学で行われた、日本造園学会関東支部大会にて、公共サイン研究会の活動に関するポスター2件のポスター発表を行った。

5 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

【①活動の普及に努め、市民と共に公共サインについて考えることを通して「今よりもっと住みやすい松戸」を考える】については、定期便やホームページによる情報発信と、ワークショップを通して、昨年度よりも地域の特徴を掘り下げ、地域の方々との関係構築ができたことから、概ね達成できたと感じている。

【②松戸市の街全体のイメージアップにつながるサインデザインガイド策定の一部に寄与する資料として、活動を通して得た地域の声をデータとして取りまとめ、行政及び市民へのフィードバックを行う。】については、ワークショップにて展示の来場者及び座談会・街歩きの参加者へのアンケートを行い、公共サインに対する市民の多様な意見を得ることができた。

なお、本事業で設定していた目標については、以下の通りである。

【1. 公共サイン定期便の発行を年4回以上】については、8月・10月・2月・3月の計4回発行し、達成できた。

【2. WS対象地域における共通検討項目を3つ以上設定】については、今年度WSの対象地域である松戸・上本郷・矢切の3地区共通で歴史・文化・景観という3つのテーマに基づき地域資源を把握し、今後の公共サインの在り方を探ることができた。

【3. 各地域のWSを計3回以上開催】については、単発のWSで終わらずに地域の方々と様々なアクティビティを通して関係構築をすることや公共サインに関して興味関心を持ってもらうことを目的とし、ポスター展示・座談会・まちあるきの3つのイベントを組み合わせた各地域1週間程度のWSとして開催することができた。そのため、当初設定の目標以上の内容で実施することができたと考えている。

(2) 取り組んだ課題の現状について

【解決できたこと】サインをチェックするには多様な視点があるということを参加市民と共有化することができた。サインを単に「見えにくい」「劣化している」等、即物的に捉えるのではなく、そのサインが設置された背景や現状のサインをめぐる問題が生じている原因などの読み解きを行うことができた。これは、ワークショップの対象とした3地域のアイデンティティについて歴史や文化、景観といった多様な側面から掘り下げ、ポスター展示や座談会において共有できたことによると考えられる。

【解決できなかったこと】サインに対する市民の興味関心や課題意識を広めることについては、まだ解決できていない課題であり、公共サインの改善において最も重要な課題でもあると認識している。3つの地域で、展示・座談会・街歩きの3段階によるワークショップを行ったことにより、昨年度よりも多様な層の人々へ公共サインに関する情報を発信することはある程度できたと考えているが、公共サインは「行政のもの」ではなく「市民・地域のもの」であるという認識へ変化させるには至っていない。

6 今後の事業展開

【公共サインと関連性のあるテーマを持った市民活動団体との連携】公共サインを単独のテーマとするだけでは、市民の関心を集めて公共サイン改善に関する活動の意義を広めることは難しいということが分かった。そのため、多くの市民が関心を持ちやすい歴史や文化、バリアフリー、まちづくり、コミュニティづくり等のテーマに基づいて多様な活動を行っている市民団体と連携し、それらの観点と公共サインというものがどのように結びつき、地域での生活に関連しているか、ということを伝えることができるような活動の方向性を考えていきたい。

【「公共サイン」という呼称の再検討】これまでの活動を通して、「公共サイン」という呼び方が市民に馴染みが無く、「公共」とつくことにより行政のものという意識に結び付きやすいと感じる。そのため、今後の活動においてはこの呼称について検討を行い、市民に親しみやすく、「サイン」という語がもつ多様な意味合いを損なわずに伝わりやすい呼称を定めることも考えていきたい。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 284,596	¥ 314,056	¥ ▲29,470	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 3,860	¥ 20,919	¥ ▲17,059	
	ワークショップ参加費	¥ 12,000	¥ 0	¥ 12,000	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 15,860	¥ 20,919	¥ ▲5,059	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 140,000	¥ 132,322	¥ 7,678	←精算額
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 155,860	¥ 153,241	¥ 2,619	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 120,000	¥ 20,000	¥ 100,000	講師謝礼 勉強会 1回 (10月)
	消耗品費	¥ 0	¥ 4,300	¥ ▲4,300	活動に関連する書籍
		¥ 19,860	¥ 79,023	¥ ▲59,163	事務用紙、プリンタトナー、紙ファイル
		¥ 6,000	¥ 23,863	¥ ▲17,863	ワークショップ用消耗品 紙コップ、ポスターフレーム、腕章、スタンドボード、クリップボード
	食糧費	¥ 6,000	¥ 3,489	¥ 2,511	ワークショップ参加者用 お茶・ジュース・お菓子
	使用料	¥ 4,000	¥ 16,350	¥ ▲12,350	ワークショップ会場使用料 松戸地区:6,750円、矢切地区:9,600円
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 155,860	¥ 147,025	¥ 8,835	
（対象外）	振込手数料	¥ 0	¥ 216	¥ ▲216	
	造園学会関東支部大会ポスター発表登録料	¥ 0	¥ 6,000	¥ ▲6,000	2件
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 6,216	¥ ▲6,216	
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 155,860	¥ 153,241	¥ 2,619	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 7,678
-----	---------

団体名 公共サイン研究会

代表者氏名 会長 湯浅 かさね

収支内訳書

【事業費の収入額】

区分	科目	金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 20,919		事業費の一部を拠出
	自己資金の合計額	¥ 20,919		
市	松戸市負担金	¥ 132,322		
合計額		¥ 153,241		

【事業費の支出額】

	科目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 20,000	20,000円×1回	講師謝礼 講師名：田邊学氏 20,000円×1回
	消耗品費	¥ 107,186	4,300円×1冊 189円+151円 17,604円×1本 19,872円×3本 1,728円×1箱 2,063円×5枚 75円×1冊 3,114円×2セット 4,820円×1台 108円×20枚	活動に関する書籍：4,300円×1冊 紙コップ：189円+151円 プリンタトナー：ブラック17,604円×1、 シアン・マゼンタ・イエロー各19,872円 事務用紙：1,728円×1箱 ポスターフレームA1サイズ：2,063円×5枚 紙ファイル：75円×1冊 腕章：10本入り3,114円×2セット スタンドボード：4,820円×1台 クリップボード：108円×20枚=2,160円
	食糧費	¥ 3,489		ワークショップ参加者用： お茶・ジュース・菓子
	使用料	¥ 16,350	松戸二丁目自治会館 750円×9時間、 矢切神社公会堂 1,600円×6時間	ワークショップ会場使用料 松戸二丁目自治会館：6,750円、 矢切神社公会堂：9,600円
	対象経費の合計	¥ 147,025		
その他 経費	振り込み手数料	¥ 216		
	造園学会関東支部 大会発表登録料	¥ 6,000	発表登録料 3,000円×2件	
	その他経費の合計	¥ 6,216		
合計額		¥ 153,241		

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×842円
	公共サイン定期便企画打合せ	13,472 円	4 人 × 1 h × 4 回 × 842 円
	公共サイン定期便取材	6,736 円	2 人 × 1 h × 4 回 × 842 円
	公共サイン定期便執筆・編集	20,208 円	2 人 × 3 h × 4 回 × 842 円
	ワークショップ企画打合せ	40,416 円	8 人 × 1 h × 6 回 × 842 円
	ワークショップ事前準備	90,936 円	4 人 × 3 h × 9 回 × 842 円
	ワークショップ実施	113,670 円	5 人 × 3 h × 9 回 × 842 円
	アドバイザーとの打合せ	3,368 円	2 人 × 2 h × 1 回 × 842 円
	公共サインガイドライン基礎資料作成	25,260 円	5 人 × 2 h × 3 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
			人 × h × 回 × 842 円
	合 計 (A)	314,066 円	

平成30年度市民活動助成事業 事業費一覧

No.	区分	事業名	団体名	予算額		決算額	精算額
				総事業費	負担金申請額		
■スタート助成							
1	新規	こども福祉フェスタ事業	Familink*	¥140,000	¥100,000	¥132,495	¥0
2	新規	食を通じての多世代交流事業	小金ほのぼの食堂の会	¥297,816	¥90,000	¥337,700	¥0
3	2回目	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	¥128,000	¥100,000	¥125,182	¥0
4	新規	「甚左衛門の森」保全育成事業	松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」	¥140,000	¥100,000	¥133,556	¥0
5	新規	世代を超えた交流ができる地域コミュニティの場をつくる事業	明地区こあら食堂の会	¥143,000	¥100,000	¥262,948	¥0
6	新規	地域猫ってなんだろう？ 野良猫トラブルなくそう事業	動物福祉団体いのち	¥118,000	¥100,000	¥124,357	¥0
7	2回目	音楽活動によるまちの活性化事業	松戸合唱まちづくり同好会	¥210,020	¥100,000	¥136,811	¥0
8	2回目	無塩パン普及事業	数値調理会	¥170,813	¥100,000	¥165,692	¥0
9	新規	子供の居場所からの発信による地域ネットワーク構築事業	さくら広場の会	¥139,000	¥100,000	¥130,956	¥0
10	新規	シニア世代活き活き地域資源マップ作り事業	ほっとする街を考える会kinari	¥79,750	¥58,000	¥81,030	¥0
■ステップアップ助成							
1	新規(スタート2回済)	「笑顔のお節介推進活動」事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	¥265,000	¥200,000	¥281,647	¥0

こども福祉フェスタ事業

F a m i l i n k *

活動状況報告書

1 事業名称 こども福祉フェスタ事業

2 実施主体

■ 団体名： Familink*

従事者数： 5名（ボランティア90名）

団体概要：

わたしたちは、「家族みんなで一緒に過ごす」をテーマに障がいを持ったお子さんとその家族が、当たり前を経験することを当たり前ができるよう地域社会に向けて発信をしています。どのような障がいがあっても、自宅で過ごしたり、兄弟や友達と遊んだり、出かけたり、多くの当たり前に出会うことができます。家族が外出、遊び、情報などの様々な事につながり、そのつながりを通して、日々の生活がより楽しく、より豊かなものになることを目指しています。

3 事業の実施内容

こども福祉フェスタ

日 付	作 業 内 容
4月	① 事業企画打ち合わせ ② 会場の選定、決定、下見
5月	① チラシ作成依頼及び広報（印刷：株式会社スマイルケアブリッジ） ② 各団体へ協力要請（株式会社るーと高岸真紀夫様/電動車椅子、日本スヌーズレン協会浅井尚美様/スヌーズレン） ③ 各団体へ後援依頼（千葉県理学療法士会、千葉県作業療法士会、松戸市リハビリテーション連絡会、NPO 法人ユニークユニバース）
6月	① 参加者とボランティアの募集・決定、名簿作成 ② 当日スケジュール、役割分担の決定 ③ 当日用ポスター、配布資料の作成依頼（印刷：株式会社スマイルケアブリッジ） ④ 備品準備、貸出依頼（株式会社アシスト/馬・INU コロボーリング、千葉県千葉リハビリテーションセンター/the spider・電動車椅子・スヌーズレン、東葛医療福祉センター光陽園/the spider、松戸市健康福祉会館松戸市こども発達センター/施設内おもちゃ・マット類、東洋大学人間環境デザイン学科繁成研究室/大型木製遊具）

	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 前日、当日の機材搬入出スケジュールの決定 ⑥ 当日昼食手配と協力要請(松戸市障害者連絡協議会及び喫茶さくらんぼ) ⑦ 参加者事前アンケートでの医療情報確認 ⑧ 会場近隣の医療機関の確認 ⑨ 会場施設職員と当日の駐車スペース及び誘導の確認 ⑩ 音楽ライブ担当者にボランティア要請 ⑪ 医師・看護師にボランティア要請 ⑫ 災害時、緊急避難時対応の確認 ⑬ 緊急時対応の方法を決定、周知 ⑭ ボランティア保険申請・加入
7月8日 開催当日	<p>こども福祉フェスタの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 参加総数 313 人（参加者 195 名、ボランティア 95 名、見学者 23 名） ② 場所：松戸市健康福社会館 3 階 大会議室等 5 室 ③ 実施内容：体験型ブースを 8 ブース設営（the spider、大型木製遊具、馬、INU コロボーリング、電動車椅子、スノーブレン、魚つり遊具、音楽ライブ）、福祉用具展示ブース 2 団体(家族団体)、計 10 ブースの出展運営を行った。相談会・講演会は会場都合にて企画中止となった。 ④ アンケート：参加者及びボランティアにアンケートを実施し満足度、感想意見等をうかがった。 ⑤ 振返り：閉会後に参加できるボランティアと当日の感想を伝え合う時間を作った。出られなかった方にはメール送付し感想意見等を返信いただいた。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ① アンケート集計の実施：振返り時の意見、メールでいただいた意見、アンケート回答を基にイベントの効果検討をおこなった。 ② 次年度計画立案・検討：実施規模、運営人員、イベント効果等を考慮し次年度の活動内容について討議を行った。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

重度障がい児にとって使用頻度の少ない電動移動機器、除重力での運動設備等について、ほとんどの参加者が体験することができ、それぞれが新しい体験を経験できた。医療職、教育職、福祉職等各分野からボランティア協力いただき、市内外問わず多くの支援者が参加することになり、広く知識や経験を共有できた機会となった。

アンケート内容についてですが、参加者の居住地は市内にとどまらず全県範囲で参加があったことより、イベント内容の評価の高さ、注目度の高さが読み取れた。ボランティア参加理由の回答内容にも「こういう活動に参加してみたい」と答えた方が多かったことより、手伝ってみたいという思いはあるものの、県内に同様のイベントは開催されてこなかったことがわかった。

参加者からいただいた感想には、「いろんなことを初めて体験できた。」、「兄弟たちと一緒に楽しむことができた。」、「どんな障がいがあっても遊びに参加できた。スタッフやボランティアの方たちが快く声をかけてくれて安心できた。」、「初めて使う器具を体験したら今までに見たことがない表情を見せてくれた！子どもにも刺激になり、家族も感動しました！」等の回答があった。ボランティアからいただいた感想には、「今まで経験したことのない楽しさがありました。笑顔になってくださった参加者を見ているとこっちまで笑顔になれました。」、「療法士だけでなく、様々な職種が集まって、地域のいろんなスタッフが集まって楽しめた。いろんな地域の子どもたちが最後まで長くいてもらえた。」、「子どもたち、家族がすごく楽しそうでした。ボランティアも心から子どもたちと一緒に楽しみたいと思っておられることが伝わってきました。親も子どももたくさんの人と関わることができていて良いなと思った。」等の回答があった。

満足度は参加者・ボランティアともに「すごく楽しかった 70%」、「楽しかった 30%」の割合となり、イベントについて総じて高評価をいただいたことがわかった。

団体が掲げる「家族と一緒に出かける、兄弟や友達と一緒に遊ぶ、ほかの家族や仲間とつながる」という理念と活動内容・目的は合致していた。市内外問わず注目いただいたイベントは多くの参加者及びボランティアから高い評価を受けたことより、本事業の目的は達成されたものととらえられる。

企画段階で会場都合上、相談・講演・展示のブースを減らし、主に体験型ブースの設置運営にシフトする変更はあったものの、当初の「10 ブース以上の設置、150名以上の参加」という数値目標についても達成された。

(2) 事業課題の解決について

遠方では参加しづらいイベントも市内開催ということで、人工呼吸器を必要とするような重症児とその家族も多数参加いただけた。

障がい児の家族が提案する福祉備品は家族ならではの心配りがあり好評であった。

障がいの程度に関わらず、自ら動くことが遊びやさらなる大きな動きにつながるといった経験ができた。

抽出した課題は完全に解決されてはいないが、イベントを通して解決に向けて働きかけを行えたものとする。

5 今後の事業展開

今回参加がかなわなかった障がい児とその家族、支援者の方々にも同じように楽しい経験をしてもらい、知識と経験を共有していただきたい。まずはイベントを定例開催できるよう準備をしていきたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 10,000	¥ 29,500	¥ ▲19,500	59家族*500円
	事業収入	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	企業ブースなし
	団体拠出金	¥ 0	¥ 2,995	¥ ▲2,995	経費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 40,000	¥ 32,495	¥ 7,505	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 140,000	¥ 132,495	¥ 7,505	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報酬費	¥ 40,000	¥ 18,000	¥ 22,000	協力費
	消耗品	¥ 12,000	¥ 4,048	¥ 7,952	名札、ボールペン、工具、養生テープ、ウェットティッシュなど
	食糧費	¥ 31,200	¥ 46,011	¥ ▲14,811	ボランティア昼食代、飲み物代
	印刷製本費	¥ 3,500	¥ 31,750	¥ ▲28,250	ポスター、依頼文書、配布資料 印刷代
	使用料及び賃借料	¥ 20,000	¥ 14,240	¥ 5,760	会場使用料
	通信運搬費	¥ 4,100	¥ 14,246	¥ ▲10,146	機材運搬費
	保険料	¥ 4,200	¥ 4,200	¥ 0	ボランティア行事用保険料
		対象経費の合計(D)	¥ 115,000	¥ 132,495	¥ ▲17,495
(その他経費)	交通費	¥ 25,000	¥ 0	¥ 25,000	
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 25,000	¥ 0	¥ 25,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 140,000	¥ 132,495	¥ 7,505	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の20%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥0
-----	----

団体名

Familink*

代表者氏名

代表 中村 信夫

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	事業収入	¥ 29,500	500円*59家族	
	団体拠出金	¥ 2,995		経費の一部を団体の会計より拠出
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 132,495		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 15,000		協力費 スヌーズレン 設置・指導
		¥ 3,000		協力費 電動車いすなどの製品貸出・指導
	消耗品	¥ 756		名札、ボールペン
		¥ 1,421		工具
		¥ 1,115		養生テープ
		¥ 756		ウェットティッシュ、風船など
	食糧費	¥ 45,000		当日ボランティア昼食費 90名分
		¥ 1,011		飲み物 6名分
	印刷製本費	¥ 12,250	30円*両面*200部 10円*片面*25部	募集用ポスター 200部、地域施設宛協力 依頼書類 25部 印刷代
		¥ 19,500	30円*両面*200部 10円*10枚*15部 30円*両面*100部	当日パンフレット 200部、当日各ブース リーダー用書類 15部、当日ボランティア 配布資料 100部、印刷代
	使用料及び賃借料	¥ 14,240		施設使用料 健康福祉会館 障害者福祉セ ンター
	通信運搬費	¥ 2,464		スヌーズレン物品 返却 運搬費
		¥ 11,782		馬物品 返却 運搬費
	保険料	¥ 4,200		ボランティア行事用保険料 150名分
対象経費の合計	¥ 132,495			
その他経費				
	その他経費の合計	¥ 0		
計 額	¥ 132,495			

食を通じての多世代交流事業

小金ほのぼの食堂の会

活動状況報告書

1 事業名称 食を通じての多世代交流事業

2 実施主体

■ 団体名：小金ほのぼの食堂の会

従事者数：33名

団体概要：当会は、子どもからお年寄りまで多世代に渡り誰にでも来ていただける「多世代食堂」です。人それぞれが感じる喜びや幸せを、食堂という場を通じて感じて頂きたいと願い、支え合い 助け合いの中から生まれる<こころの安らぎ>を想う会です。

3 事業の実施内容

I 食堂の開催

日付	作業内容	参加者				参加スタッフ
		未就学児	子ども	大人	合計	
2018/04/07	東平賀城町会館 食堂開催 ・なぞの未確認物体現れる (新井 様) ・松戸かるた (小金ほのぼの食堂の会)	6名	6名	10名	22名	12名
2018/04/17	小金市民センター 食堂開催 ・魔法の水を使って スライムを作ろう (新井 様) ・絵本読み聞かせ (堀江 様) ・子ども服リサイクル (石川 様) ・アートバルーン (鴨 様)	16名	26名	29名	71名	15名
2018/05/22	小金市民センター 食堂開催 ・折り染めの世界をたのしもう (新井 様) ・絵本読み聞かせ (堀江 様)	20名	31名	32名	83名	15名
2018/06/03	東平賀城町会館 食堂開催 ・折り染めの世界をたのしもう (新井 様) ・松戸かるた (小金ほのぼの食堂の会)	4名	19名	16名	39名	15名
2018/06/12	小金市民センター 食堂開催 ・絵本読み聞かせ (堀江 様) ・ミニ算数検定 (石山 様)	26名	39名	39名	104名	16名
2018/07/07	東平賀城町会館 食堂開催 ・世界に一つだけの“うちわ”を作ろう (新井 様)	6名	12名	22名	40名	17名

2018/07/24	<p>小金市民センター 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライアイスで遊ぼう (新井 様) ・お茶 (本格抹茶体験) (若林 様) ・アートバルーン (鴨 様) ・絵本読み聞かせ (堀江 様) 	21名	33名	41名	95名	20名
2018/08/05	<p>東平賀城町会館 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気と水の実験 (新井 様) ・写真展【食】 (木村 様) ・ミニ算数検定 (石山 様) 	5名	2名	21名	28名	16名
2018/08/22	<p>小金市民センター 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に一つだけの“うちわ”を作ろう (新井 様) 	27名	35名	50名	112名	22名
2018/09/05	<p>東平賀城町会館 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライアイスで遊ぼう (新井 様) ・おにぎりコーナー (小金ほのぼの食堂の会) 	8名	9名	16名	33名	9名
2018/09/18	<p>小金市民センター 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べられる スライム餅を作ろう (新井 様) ・ペーパークラフト・絵本読み聞かせ (堀江 様) 	26名	17名	46名	89名	16名
2018/10/06	<p>東平賀城町会館 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストローで遊ぼう (新井 様) ・おにぎりコーナー (小金ほのぼの食堂の会) 	8名	5名	26名	39名	13名
2018/10/17	<p>小金市民センター 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皿まわし & 紙皿まわし (新井 様) ・アートバルーン (小金南部民生委員協議会 様) 	41名	49名	58名	148名	15名
2018/11/04	<p>東平賀城町会館 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムニユムニユ星人 (新井 様) ・おにぎりコーナー (小金ほのぼの食堂の会) 	7名	11名	22名	40名	13名
2018/11/13	<p>小金市民センター 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪ゴム鉄砲 De 射的 (新井 様、滝沢 様) ・絵本読み聞かせ (堀江 様) ・ミニ算数検定 (石山 様) 	38名	31名	42名	111名	14名
2018/12/19	<p>小金市民センター 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスキャンドルづくり (新井 様) ・お茶 (本格抹茶体験) (若林 様) ・アートバルーン (鴨 様) ・Country Western Dance (杉山 様) 	36名	37名	44名	117名	17名
2019/01/06	<p>東平賀城町会館 食堂開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるぐる皿回し (新井 様) 	4名	6名	11名	21名	11名

2019/01/24	小金市民センター 食堂開催 ・ぐるぐる皿回し&ハンドスピナー (新井様)	31名	13名	32名	76名	13名
2019/02/03	東平賀城町会館 食堂開催 ・プラカップコースター (新井様)	11名	7名	18名	36名	15名
2019/02/20	小金市民センター 食堂開催 ・静電気で遊ぼう！びりりん体験 (新井様)	40名	20名	44名	104名	12名
2019/03/02	東平賀城町会館 食堂開催 ・おにぎりコーナー (小金ほのぼの食堂の会)	8名	8名	17名	33名	12名
2019/03/15	小金市民センター 食堂開催 ・ミニ算数検定 (石山様) ・折り紙と紙花作り (小金ほのぼの食堂の会)	44名	21名	44名	109名	12名
合計		433名	437名	680名	1550名	320名

・講師について

講師について下表に示す。

No	講師	詳細
1	たのたのじゅく 新井秀樹氏	・参加者へのあそびを通して体験学習・学びの講師を実施。年間を通しての講師開催費用として、報償費の支払いを実施。
2	Flower salon MORE 伊藤知亜紀氏	・イベント的体験 (2018/04/05 ハーバリウム教室とおやつの開催) 時に、ハーバリウム教室の講師開催費用として、報償費の支払いを実施。
3	鴨洋二氏	・食堂開催時に、参加者へアートバルーンの講師を実施。2018/04/17、7/24、12/19の講師開催費用として、報償費の支払いを実施。
4	若林 桂祥氏	・本格抹茶体験の開催を実施。
5	小金南部民生委員協議会	・アートバルーンの提供を実施。
6	NPO 法人松戸子育てさぼーとハーモニー 石川静枝氏	・子ども服の無料リサイクルコーナーの提供を実施。
7	堀江良文堂書店 堀江基行氏	・絵本の読み聞かせの提供を実施。
8	石山まりこ	・小学生向けにミニ算数検定の開催を実施。
9	木村亜美	・イベント的体験 (2018/08/05 写真展【食】の開催) 時に、写真展のプロデュースおよび開催を実施。
10	ミルキーウェイ 杉山マキ子	・小金市民センターホールで舞台を使って、カントリードダンスの披露を実施。

II イベント的体験の実施

日 付	作 業 内 容	講 師	参加者		
			子ども	大人	合計
2018/04/05	ハーバリウム教室とおやつのカフェの開催 場所：Soy diner	Flower salon MORE 伊藤知亜紀氏	10名	5名	15名
2018/08/05	写真展【食】の開催 場所：東平賀城町会館	木村亜美氏	15名	31名	46名
2018/09/29	ほのぼののバーベキューの開催 場所：21世紀の森と広場	講師なし	12名	18名	30名
2019/01/26	認知症サポーター養成講座の開催 場所：小金市民センター	松戸市小金地域包 括支援センター 前田貴子氏	8名	16名	24名
合計			45名	70名	115名

III リサイクル活動

食堂開催時に、“ご自由にお待ち帰りください” コーナーを設けて、「NPO 法人松戸子育てさぼーとハーモニー」という団体からいらなくなった子ども服を提供してもらったり、参加者の方から物資を持ち寄って頂いたり、無料リサイクル活動を行いました。

参加者からもとても好評だったので、今後も継続していきたいです。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

●食堂開催について

- ・開催数：22回
- ・延べ参加者数：1,550名（大人680名、子ども437名、未就学児433名）
- ・1回平均：大人：32人、子ども（小学生～18歳）：19人
と目標値（大人：25人、子ども：10人）を上回ることが出来た。

●学習・実習・イベントの実施について

- ・開催数：4回
- ・延べ参加者数：115名（大人70名、子ども45名）
- ・1回平均：29名（大人18名、子ども11名）
と目標値、募集定員（10～30人）の9割以上の申し込みを達成することが出来た。

(2) 事業課題の解決について

・食堂を開催することによって、食堂で初めて会話をし、ご近所さん同士であることがわかった事例があります。近隣をはじめとする住民相互の繋がりが希薄であった課題が少しでも解決出来たと考えます。

また、月2回の食堂開催を、とても楽しみに待ちわびている声があります。開催日には参加者の笑顔が多く見られ、笑顔と明るさを感じられる時間であると実感している。

5 今後の事業展開

・定期的な開催は続けているものの、初めて参加する人はいるため、今後も毎月定期的な開催を続けると共に、告知を広めることで認知度を増やし、住民相互の繋がりをより密なものとし、様々な人々との繋がりを広げたい。

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 3,816	¥ 0	¥ 3,816	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より搬出
	事業収入	¥ 204,000	¥ 247,700	¥ ▲43,700	300円(大人参加費)*680人(延べ人数) 100円(子ども(小学生~18歳)参加費)*437人(延べ人数)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 207,816	¥ 247,700	¥ ▲39,884	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 90,000	¥ 90,000	¥ 0	+精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 297,816	¥ 337,700	¥ ▲39,884	

【事業費の支出額（支出）】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 82,800	¥ 12,000	¥ 70,800	東平賀城町会館 会場費5回 小金市民センターについては公用にて使用
		¥ 7,200	¥ 2,800	¥ 4,400	東平賀城町会館 空調使用料4回
	食糧費	¥ 132,000	¥ 103,420	¥ 28,580	食事材料費
	保険料	¥ 11,576	¥ 0	¥ 11,576	行事保険(子ども食堂)
		¥ 4,500	¥ 6,070	¥ ▲1,570	検便代
	消耗品費	¥ 17,740	¥ 26,101	¥ ▲8,361	プリンクインク
		¥ 12,000	¥ 33,769	¥ ▲21,769	食器、筆記用具、ゴミ袋等
	報償費	¥ 30,000	¥ 10,000	¥ 20,000	外部講師謝礼 3名分
	対象経費の合計(D)	¥ 297,816	¥ 194,160	¥ 103,656	
その他経費 (対象外)	使用料及び賃借料	¥ 0	¥ 15,200	¥ ▲15,200	東平賀城町会館会場費及び空調使用料5回
		¥ 0	¥ 6,480	¥ ▲6,480	レンタルカーニバー使用料
	保険料	¥ 0	¥ 11,576	¥ ▲11,576	行事保険(子ども食堂)
	印刷製本費	¥ 0	¥ 2,685	¥ ▲2,685	食堂の開催チラシの作成
	通信費	¥ 0	¥ 250	¥ ▲250	講師へのFAX使用料
	イベント参加費	¥ 0	¥ 5,500	¥ ▲5,500	他の食堂への視察、イベント出店料
	食糧費	¥ 0	¥ 101,849	¥ ▲101,849	食事材料費(レシートのため対象外経費へ)
	その他経費の合計額(E)	¥ 0	¥ 143,540	¥ ▲143,540	
合計額(F) = (D+E)		¥ 297,816	¥ 337,700	¥ ▲39,884	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 小金ほのぼの食堂の会
 代表者氏名 代表 安達 里季

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体搬出金	¥ 0		対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より搬出
	事業収入	¥ 247,700	300円×680人 100円×437人	参加費(大人300円、子ども100円)
	自己資金の合計額	¥ 247,700		
	市民活動助成金	¥ 90,000		
合計額		¥ 337,700		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 12,000	2,400円×5回 0円×14回	東平賀城町会館 会場費5回 小金市民センターについては公用にて使用
		¥ 2,800	700円×4回	東平賀城町会館 空調使用料4回
	食糧費	¥ 103,420		食事材料費
	保険料	¥ 0		行事保険(子ども食堂)
		¥ 6,070		検便代
	消耗品費	¥ 26,101		プリンタインク
		¥ 33,769		紙代、食器、筆記用具、ゴミ袋等
	報償費	¥ 10,000	5,000円×1回 3,000円×1回 2,000円×1回	外部講師謝礼 Flower salon MORE 伊藤 知亜紀氏 たのたのじゅく 新井 秀樹氏 鴨 洋二氏
対象経費の合計	¥ 194,160			
その他経費	使用料及び賃借料	¥ 15,200		東平賀城町会館会場費及び空調使用料5回
		¥ 6,480		ホームページ作成のためのレンタルサーバー使用料
	保険料	¥ 11,576		行事保険(子ども食堂) 領収書不備のため対象外経費へ
	印刷製本費	¥ 2,685		食堂の開催チラシの作成
	通信費	¥ 250		講師へのFAX使用料
	イベント参加費	¥ 5,500		他の食堂への視察、イベント出店料
	食糧費	¥ 101,849		食事材料費 (レシートのため対象外経費へ)
	その他経費の合計	¥ 143,540		
合計額		¥ 337,700		

笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業

浅間台笑劇研究部

活動状況報告書

1 事業名称 笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業

2 実施主体

- 団体名： 浅間台笑劇研究部
- 従事者数： 24名
- 団体概要： 千葉県生涯大学校浅間台教室地域活動学部卒業生を中心に平成28年1月に発足した団体であり、高齢者施設で主に笑劇公演のボランティア活動を行い、社会福祉に貢献することを目的とした団体です。

3 事業の実施内容

I 高齢者施設でのボランティア公演

日付	作業内容
2018/4/23	「老人ホーム 松戸ニッセイエデンの園」での公演
2018/5/29	「松戸ナーシングヴィラ そよ風」での公演
2018/6/18	「特別養護老人ホーム 陽光苑」での公演
2018/6/29	「特別養護老人ホームなでしこ」での公演
2018/7/3	「特別養護老人ホーム まんさくの里」での公演
2018/7/15	「老人ホームサニーライフ松戸」での公演
2018/9/14	「老人ホーム 応援家族松戸」での公演
2018/9/17	「リハビリホーム ボンセジュール北松戸」での公演
2018/11/19	「ケアプランさくら松戸」での公演
2018/12/16	「老人ホーム 応援家族松戸」での公演

II 新プログラムの開発と習得

日付	作業内容
2018/7/20	シナリオ完成
2018/7/25	音楽編集 CD作成
2018/7/31	配役決定 練習開始
～2018/10/31	大小道具・衣装製作済
2018/11/14	千葉県生涯大学学園祭で処女公演

III 定例会（稽古）の継続実施

日付	作業内容
2018/4～2019/3	総会 定例会を16回実施

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

<ul style="list-style-type: none"> ● 計画時の事業の目的 笑劇(Musical)の公演により、施設利用高齢者を元気にすること ● 達成状況 10回の公演を通して計画時の事業の目的は十分達成できた。 各施設とも割当の1時間に前座でパルーンアート・詩吟を、メインとして笑劇公演を、アンコールにお応えしてばか面踊りを行ったが、非常に反応がよく、大いに楽しんで頂いたことが実感できた。
--

(2) 事業課題の解決について

この活動を通じて「松戸市総合計画基本構想」の実現の一翼を担えた具体的な課題の達成状況は下表の通り			
事業の課題	評価対象	コミットメント	実績
多く公演する	公演回数	6回以上	10回
多くの人に見てもらおう	延べ観客数	200名	436名
新プログラムの開発	開発数	1本	1本
練習を多く行う	練習回数	12回	16回

5 今後の事業展開

<p>当事業が、H31年度松戸市市民活動助成事業のステップアップ助成に採択された。</p> <p>そのステップアップ助成のプロポーザルに沿った、下表の通りの活動を真摯に行い、事業の目標を完遂する。</p>		
事業の目標	評価対象	数値目標 (H31年度)
① 高齢者福祉施設公演	公演回数	10回以上、 ターゲット 12回
	延べ観衆	200名以上、 ターゲット 400名
	公演後のアンケート	よかった 70%以上
② 松戸市民劇場公演	公演回数	1回
	延べ観衆	100名以上
③ 新脚本を作成する	脚本作成	1本

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	部員年会費	¥ 32,300	¥ 25,182	¥ 7,118	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 32,300	¥ 25,182	¥ 7,118	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 132,300	¥ 125,182	¥ 7,118	

【事業費の支出額（支出）】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 30,000	¥ 39,462	¥ ▲9,462	舞台道具制作費 舟、舞台幕 他
		¥ 50,000	¥ 6,743	¥ 43,257	舞台衣装代 ポンテヨ 地下たび
		¥ 11,000	¥ 13,761	¥ ▲2,761	文具費 印代 13,234円 文具 527円
		¥ 5,500	¥ 1,060	¥ 4,440	音源DL代、CD代 5曲
		¥ 6,000	¥ 10,140	¥ ▲4,140	バルーンアート 風船 1,200本 目玉300枚
	運搬費	¥ 16,000	¥ 30,000	¥ ▲14,000	施設までの大道具運搬費 3,000円*10回
	使用料及び賃借料	¥ 6,000	¥ 13,940	¥ ▲7,940	練習、打合せ 作業場 ワイヤレスピンマイク 5,000円*2回
	印刷代	¥ 1,800	¥ 1,740	¥ 60	シナリオ他コピー
	通信費	¥ 2,500	¥ 2,480	¥ 20	ボランティアアンケート 124円*20枚
		対象経費の合計(D)	¥ 128,800	¥ 119,326	¥ 9,474
(その他経費 対象外)	食糧費	¥ 3,500	¥ 5,856	¥ ▲2,356	定例会時のお茶代
				¥ 0	
				¥ 0	
		その他経費の合計額(E)	¥ 3,500	¥ 5,856	¥ ▲2,356
合計額 (F) = (D+E)		¥ 132,300	¥ 125,182	¥ 7,118	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	—
-----	---

団体名 浅間台 笑劇研究部

代表者氏名 部長 砂永 宏

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	
団 体	部員年会費	¥ 25,182		対象事業費の一分及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 25,182		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 125,182		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 39,462	舟、舞台幕、他	大小舞台道具制作費
		¥ 6,743	ポンチヨ 地下たび 1,500円	舞台衣装代
		¥ 13,761	印代 13,234円 筆記具 527円	文具費
		¥ 1,060	5曲	音源DL代 CD代
		¥ 10,140	風船 1,200本 動物用目玉 300枚	バルーンアート
	運搬費	¥ 30,000	3,000円*10回	施設までの大道具運搬費
	使用料及び賃借料	¥ 13,940	サポートセンター他 5,000円*2回	練習 打合せ 作業場所 ワイヤレスピンマイク
	印刷代	¥ 1,740	社会福祉協議会他	シナリオ 打合せ資料コピー
	通信費	¥ 2,480	124円*20枚	アンケート調査 往復葉書
	対象経費の合計	¥ 119,326		
食糧費	¥ 5,856	食品	練習 打合せのお茶代	
その他経費の合計	¥ 5,856			
合 計 額		¥ 125,182		

「甚左衛門の森」保全育成事業

松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」

活動状況報告書

1 事業名称 「甚左衛門の森」保全育成事業

2 実施主体

■ 団体名： 松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」

従事者数： 10名

団体概要：

松戸市内の森林保全を主な目的としてボランティア組織として平成29年4月に設立し、6月から高塚新田地区の“甚左衛門の森”で活動を始めた。約0.9haの落葉・常緑混交林で一部マダケ林と変化のある森である。月2回の全員参加の定例活動で行う。雑草木・竹藪の刈払・伐採作業、立枯れ・倒木の除去、不法投棄されたごみの撤去の実施、植生の基礎調査と観察、作業道の整備等を実施している。

3 事業の実施内容

I 森の保全活動

期間等	作業内容
4月～3月通年	ゴミ撤去・雑草木の刈払い、集積、処理 倒壊木・枯木の集積・処理、作業道の設置、 侵入竹の除去、除去竹の保管・整理、不要樹木の伐採 希少種の保護
6月、12月	森の敷地内に不法投棄された粗大ごみ等を、みどりと花の課の協力を得て、市回収車による特別回収を実施。
1月～4月	オープンフォレストの準備として森の広場の整備を集中的に実施。
10月	台風により生じた倒木等を処理。今年は特に多かった。 道路周辺に出た枝等の除去と市担当課への連絡。
1月	樹木の密度、竹林の除去伐採状況について千葉県里山協議会の確認調査を受ける。

II 森の保全の準備活動

期間等	作業内容
5月	森の保全の当面の活動方針案を作成した。 保全の重点場所、作業道地図の作成。 森林インストラクターによる森の視察と計画のアドバイスを受ける。
6月	森林・山村多目的機能発揮対策交付金活動団体のための安全研修会を当森で実施。千葉県内の各市からの参加者も含め約40名。大径木等の安全な伐採（チェーンソーによる伐採作業研修

	及び安全作業)
11月	里やま応援団主催の樹木講座(木を診る、木を知る)に参加。会員全員がテキストを購入し、会員の知識向上を図る。

III 広報的活動

期間等	作業内容
4月	オープンフォレストの開催。当森では初めてであったが、親子連れの人達等、25人の見学者があった。
9月	森の入り口に掲示板を当会員で自製し設置した。
9月から10月	A4サイズ裏表のチラシを2千枚作成、うち1千枚は市内の支所、市民センターに掲示配付した。
11月	市川市みどりと花の基金メンバーの来森、森と当会の活動の紹介をした。
12月	千葉県森林課職員が来森。森の視察。

IV 中期的項目 (3年を目途)

期間等	作業内容
(中期目標)	森の中に遊歩道を作る。学校の昆虫観察等課外活動での野外学習の場とする。
12月～	4月のオープンフォレストに向けて、散歩道を整備中。木や突起物の除去、危険木の確認と除伐を進めている。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

<p>1. 松戸市の残存森林の保全活動が当事業の主な目的である。森の保全は1か月、1年単位で成果を得られるものではないが、とはいえ月2回の定期活動で雑草木の刈払い、不要樹木の整理などで森の中がかなり明るくなってきている。不要な樹木の伐採は目標通り約0.2Ha、竹林も本数で約500本(いずれも森全体の約30%)を達成している。</p> <p>2. 概括的な保全計画の策定し、希少植物(キンラン、ギンラン、ヤマユリ等)のエリアを定め、保全のための柵を作った。</p> <p>3. 広報的活動については、会の活動概要を記したチラシを作成し市内各所に配布した。会員募集も目的の一つであるがひきつづき進めていく。</p> <p>4. 4月にオープンフォレストを開催し、多数の来場者があった。</p> <p>5. 森の入り口から中央の広場までの通路は整備を完了した。引き続き遊歩道として森の中を延伸している途上である。</p> <p>・事業全体としての自己評価は、おおむね当初の予定項目を達成できた、と判断している。</p>

(2) 事業課題の解決について

当会の活動を始めて一年半、助成金事業としては初年度であった。森の保全活動は対象が森という自然物ではあるが、継続的かつ地道な活動であることが何よりも求められる。

松戸市みどりと花の課にも定期的に報告し、また様々な支援もいただいている。また当森の地権者とも定例活動日に頻繁に訪問し情報交換している。

不法投棄のごみは年2回定期的に整理処置しているが、現実には根絶するのは容易ではない。定期的な清掃と絶え間ない注意と監視を継続していきたい。

地域社会の人々の理解や協力も得ることや、会の活動をより積極的に行うためには会員の確保も大切である。

松戸市みどりの市民憲章の基本理念を大切に、今年も森の保全活動を推進します。

5 今後の事業展開

助成金事業は2年目も申請している。基本的な方針と事業の目標に大きな変化はないが、初年度の各事業内容をより進化したものになりたい。

特に会員募集をさらに一工夫する、ごみ対策や周辺環境については地元の町内会にも機会を得て働きかけたい。

森の地権者とは良好な関係を維持しており、当会の活動に協力的に関わって頂いている現況である。



森の掲示板の制作中



安全講習会の様子



森のオープンフォレスト



玉切り前の倒木の引き倒し



モニタリングエリアの現況調査



来森者への森の案内



森の南東角の掛かり木を処理中



不法投棄ゴミの撤去と森内ゴミ出し

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	甚左衛門の森の会拠出金	¥ 40,000	¥ 33,556	¥ 6,444	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 40,000	¥ 33,556	¥ 6,444	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 140,000	¥ 133,556	¥ 6,444	

【事業費の支出額（支出）】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 18,000	¥ 20,912	¥ ▲2,912	A. 森の掲示板材料
		¥ 35,000	¥ 35,313	¥ ▲313	B. 作業用具
		¥ 34,000	¥ 40,980	¥ ▲6,980	C. 森の活動消耗品
		¥ 17,000	¥ 21,528	¥ ▲4,528	D. 森のイベント用品
		¥ 17,000	¥ 10,144	¥ 6,856	E. 事務用消耗品
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 4,679	¥ 5,321	チラシ 2,000枚
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 131,000	¥ 133,556	¥ ▲2,556	
(その他経費)	交通費	¥ 9,000	¥ 0	¥ 9,000	千葉(里山協議会) 機器安全講習会参加 当森で実施のため交通費不要
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 9,000	¥ 0	¥ 9,000	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 140,000	¥ 133,556	¥ 6,444	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」

代表者氏名 代表 村井行雄

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	甚左衛門の森の会拠出金	¥ 33,556		会員の会費、繰越金等から拠出
	自己資金の合計額	¥ 33,556		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 133,556		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 20,912	A. 森の掲示板材料	ベニヤ板3,629円、金具883円、塗料4,267円、木材2,678円、その他9,455円等
		¥ 35,313	B. 作業用具	鋸3,758円、かけや3,542円、手斧2,138円、スコップ2,678円、鍬3,672円、長鎌3,218円、ローブドラム他16,307円等
		¥ 40,980	C. 森の活動消耗品	ネット4,514円、燃料油2,073円、塗料1,390円、ポリボックス3,197円、替刃4,000円、ロープ3,167円、その他22,639円等
		¥ 21,528	D. 森のイベント用品	木製杭3,240円、角材5,216円（345円x14本x1.08）、スリング2,895円、塗料1,024円、その他9,153円等
		¥ 10,144	E. 事務用消耗品	コピー紙288円、ラミネートフィルム2,320円、Pインキ1,280円、テープ1,060円、その他5,196円等
	印刷製本費	¥ 4,679		チラシ作成 2,000枚
	対象経費の合計	¥ 133,556		
その他経費	交通費	¥ 0		千葉(里山協議会) 機器安全講習会参加 当森で実施のため交通費不要
	その他経費の合計	¥ 0		
合 計 額		¥ 133,556		

世代を超えた交流ができる
地域コミュニティの場をつくる事業

明地区こあら食堂の会

活動状況報告書

1 事業名称 世代を超えた交流ができる地域コミュニティの場をつくる事業

2 実施主体

- 団体名：明地区こあら食堂の会
- 従事者数： 会員7名、ボランティア各回5名ほど
- 団体概要：地域の子ども、大人すべての世代を対象とした地域交流の場として食堂やその他行事を開催し、子どもたちや保護者が抱える問題を地域と共有し、互いに支えあい、助け合うことを目的とする団体。

3 事業の実施内容

I 毎月1回（計12回）食堂を開催する。

日 付	作 業 内 容
4月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
4月21日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人25名、こども17名 計42名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～18：00 スタッフミーティング、総会、交流会、片付け

日 付	作 業 内 容
5月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
5月27日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人21名、こども9名 計30名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
6月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
6月24日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人24名、こども30名 計54名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
7月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
7月21日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人21名、こども27名 計48名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
8月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
8月26日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人20名、こども16名 計36名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
9月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
9月23日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人27名、こども42名 計69名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
10月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
10月21日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人24名、こども16名 計40名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
11月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
11月23日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人45名、こども30名 計75名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
12月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
12月23日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人30名、こども22名 計52名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
1月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
1月27日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人25名、こども27名 計52名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
2月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
2月17日	食堂開催：松戸新田第一町会集会所 【参加人数】大人26名、こども29名 計55名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

日 付	作 業 内 容
3月上旬	食堂メニュー打ち合わせ チラシの企画及び作成、印刷、配布
3月17日	【参加人数】大人32名、こども31名 計63名 11：00～12：00 準備、12：00～14：00 食堂開催 14：00～16：00 スタッフミーティング、片付け

○参加総数○ 大人320名 こども296名 合計616名

II イベントの実施（食堂開催日に同時開催）

月	イベント名	実施内容	メニュー（特別な）
5月27日	こどもの日	・お子様ランチ風 ・近隣町会の運動会とバuntingした為、イベントは翌月に実施	・ハンバーグなど
6月24日		・サイクロン実験	
7月21日	夏休み	・シャボン玉 ・水ヨーヨー (釣り、ヨーヨー作り)	・カレーライス ・西瓜 ・チューペット
8月26日	夏休み	・シャボン玉 ・水ヨーヨー (釣り、ヨーヨー作り) ・水鉄砲	・ジャージャー麺 ・焼鳥 ・西瓜 ・チューペット
9月23日	敬老の日	・綿花で糸紡ぎ	・炊き込みご飯 ・酢の物、煮物等の和食
10月21日	ハロウィン	・子ども達に可愛く袋詰めしたお菓子を配る	・洋風炊き込みご飯 ・南瓜を使ったおかず
12月23日	クリスマス	・サンタの格好をして子ども達にお菓子を配る	・クリスマスチキン ・ピラフ ・カップケーキ
1月27日	お正月	・けん玉教室	・カレーライス
3月17日	ひなまつり	・カードゲーム	・ちらしずし

III リーフレットの作成と配布

日付	作業内容
H30.4~H31.3	・リーフレットに使用するための写真をストック ・食堂の様子を撮影 ・H31.3.23開催のみらいフェスタで配布することにする
2月上旬	・おおまかなレイアウトを決め、wordにて作成
3月	・印刷業者に発注（三巻折り 500部）
3月23日	・みらいフェスタにて、次回開催の食堂チラシと共に配布 50枚程
3月末	・次年度の交流会案内書に同封して発送 52枚

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

数値目標に関しては毎月1回開催（年に12回）、各回30名以上の参加があり、達成している。また「参加した人がまた来てくれるような食堂をつくること」という点についても、参加者の半数はリピーター（2回以上参加）であり、子育て、地域の事、一人暮らしの事など、毎回相談してくる参加者も多いため、事業目標は達成したと言える。

(2) 事業課題の解決について

子どもだけでなく、子育て世代、高齢者など参加者の各世代比率も良く、参加者間で実際に交流も行われていた。従って世代間交流が出来る食堂を開催するという事業目的は達成できたと考える。また各世代の抱える問題を地域で共有し、互いに支えあい、助け合うという事業目的に関しては一定程度達成できたと言える。と言うのも、高齢者の相談をスタッフが受けたり、子育てに関する悩みを参加者同士若しくはスタッフで共有する場面など多く見受けられたからだ。毎回こあらにきて話をすることを楽しみにしていると言う、一人暮らしの高齢者もリピーターの一人。しかし、まだ助け合うというレベルまでには至っていない。

5 今後の事業展開

4-(2)で述べた「互いに支えあい、助け合うこと」と言う目的を達成するためには、より深く地域に根付いていくことが求められると考える。そのためには開催日数を増やすこと、開催日を固定すること、が必要である。その前提として、まずは団体をスケールアップし、ボランティアの充足を図りたい。また、こどもの学力格差も深刻であり、学校の勉強をフォローする学力サポートも行っていきたいと考えている。

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 25,000	¥ 68,448	¥ ▲43,448	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 18,000	¥ 94,500	¥ ▲76,500	大人300×315名（のべ）
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額（A）	¥ 43,000	¥ 162,948	¥ ▲119,948	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額（C）=（A+B）	¥ 143,000	¥ 262,948	¥ ▲119,948	

【事業費の支出額（支出）】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料	¥ 36,000	¥ 37,350	¥ ▲1,350	松戸新田第一町会集会所 5時間*11回、7時間*1回 600円/h(17時以降：750円/h)
	食糧費	¥ 60,000	¥ 157,614	¥ ▲97,614	食堂の食材（12回分）
	消耗品費	¥ 8,000	¥ 8,523	¥ ▲523	イベント用材料（綿花）、台所用品、延長コード*2
		¥ 8,000	¥ 18,087	¥ ▲10,087	食器、カトラリー、寿司桶
		¥ 8,000	¥ 12,725	¥ ▲4,725	玩具・文具 お手玉、カードゲーム
		¥ 18,000	¥ 17,029	¥ 971	チラシ印刷用紙
	印刷費	¥ 5,000	¥ 11,620	¥ ▲6,620	チラシ印刷代（各回2000~2500枚）、リーフレット印刷（500部）
		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
		対象経費の合計（D）	¥ 143,000	¥ 262,948	¥ ▲119,948
（対象外）				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
		その他経費の合計額（E）	¥ 0	¥ 0	¥ 0
	合計額（F）=（D+E）	¥ 143,000	¥ 262,948	¥ ▲119,948	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）額の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）額が、「対象経費（D）額の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名

明地区こあら食堂の会

代表者氏名

代表 石塚 景子

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 68,448		対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 94,500	大人300円*315名	大人参加費300円*315名分
	自己資金の合計額	¥ 162,948		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 262,948		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	使用料	¥ 37,350	5時間*11回、7時間*1回 600円/h (17時以降：750円/h)	松戸新田第一町会集会所
	食糧費	¥ 157,614	4月食材費15,470円他11回	食堂の食材（12回分）
	消耗品費	¥ 8,523	綿花1,080円、台所用品7,443円	イベント用教材（綿花） 台所用品（ラップ、ごみ袋、洗剤等）
		¥ 18,087	寿司桶4,480円、食器13,607円	配膳用7Lカップ、紙コップ、カトラリ-他 寿司桶*1
		¥ 12,725	2,862円、3,887円、1,953円 2,093円、150円*3、1,480円	水ヨーヨーセット、ヨーヨー備品、シャボン玉*12、 水鉄砲*13、お手玉*3、カードゲーム*2
		¥ 17,029		食堂開催案内チラシ印刷用紙代
	印刷費	¥ 11,620	5,350円 6,270円	食堂開催案内チラシ印刷代 （8回分・各2,000～2,500枚） リーフレット印刷代（500部）
	対象経費の合計	¥ 262,948		
その他経費				
	その他経費の合計	¥ 0		
合計額		¥ 262,948		

地域猫ってなんだろう？
野良猫トラブルなくそう事業

動物福祉団体いのち

活動状況報告書

1 事業名称 地域猫ってなんだろう？野良猫トラブルなくそう事業

2 実施主体

- 団体名： 動物福祉団体いのち
- 従事者数： 6名
- 団体概要： 犬猫殺処分削減の啓発、相談会、上映会等の実施

3 事業の実施内容

I 上映会の実施

日付	作業内容
4月	事業企画打ち合わせ
5月	アンケート内容の検討
6月～7月	地域猫活動者ヒアリング
8月～11月	上映開催に向けた打合せ
12月	内容の再検討
1月～2月	上映打ち合わせ及び準備
3月22日	上映会の実施 市民劇場 ゲスト市議5名 参加者53人

II 意見交換会の実施

日付	作業内容
4月	事業企画打ち合わせ
5月	アンケート内容の検討
6月～7月	地域猫活動者ヒアリング
8月～11月	上映開催に向けた打合せ
12月	出演依頼、スケジュール確定
1月～2月	チラシ企画及び版下作成、PR活動
3月22日	意見交換会の実施 市民劇場 ゲスト市議5名 参加者53人

<上映会開催に伴う会場の変更について>

上映会を開催するにあたって、本事業は市の助成金を使用し公益性の高い事業であることから、地域猫普及の担当課である環境保全課からの協力を得られるものと考え11月25日に使用予定で森のホールを予約し利用料の支払いを行いました。実際には環境保全課からの協力が得られず思うような集客が望めなかったため一旦開催を中止しました。なお、森のホールを予約した際に支払った利用料については払い戻しが不可でした。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

・200名以上の来客数を設定し、48名と目標の1/4の達成に留まった。
・ヒアリングの結果、アンケートは地域猫活動の理解度ではなく松戸市内で実現してほしい施策に変更し30名の有効回答を得た。
・月1回の交流会は他の地域猫活動団体の市民活動助成事業提案に企画段階より協力し平成31年度実施事業として成立した。
・「活動希望者が増える」「その結果実践者が増え、住民トラブルが減る」「活動者同士のつながりができる」については集計できていない。

(2) 事業課題の解決について

多くの市民に「地域猫活動」を知ってもらう事は今回、直接市民には果たせなかった。
しかし有識者1名の講演予定が変更、市議5名が登壇したため、松戸市政を担う政治家に地域猫活動の周知普及は市の課題として重要と理解いただくことが出来た。
今後市議達からも「地域猫活動」の周知推進がなされれば、当初予定とは違った形で目的を果たせることとなる。

5 今後の事業展開

多くの人に知ってもらい少しでも現状を変える。そのため長らく市民向け啓発(上映会等)を行ってきたが、政治家に知らせることも大切であると学んだ。

党派を超えて動物の好きな政治家は少なくないため、今後は政治家とも交流し啓発を促したい。目的は市民相手の時と変わらず、動物も人間も幸せに生きる世界をめざす。

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 54,000	¥ 24,357	¥ 29,643	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 0	¥ 0	¥ 0	0円（参加料）
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額（A）	¥ 54,000	¥ 24,357	¥ 29,643	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額（C）=（A+B）	¥ 154,000	¥ 124,357	¥ 29,643	

【事業費の支出額（支出）】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 20,000	¥ 5,000	¥ 15,000	カメラマン謝礼 加藤有紀氏 5000*1
	印刷費	¥ 12,000	¥ 6,170	¥ 5,830	チラシ 片面カラーA4 3000部配布
		¥ 3,500	¥ 250	¥ 3,250	アンケート 製版*2+印刷代 250部配布
	使用料及び賃借料	¥ 50,000	¥ 33,696	¥ 16,304	上映権使用料 50名まで 30000 400*3名追加 1200 + (税金2496)
		¥ 27,000	¥ 32,400	¥ ▲5,400	会場使用料 松戸市文化会館使用料*32400
		¥ 0	¥ 18,360	¥ ▲18,360	会場使用料 松戸市民劇場使用料*10800 音響/照明機材/暖房*7560
	通信費	¥ 15,000	¥ 14,910	¥ 90	切手代 8630 市議、病院、市民、委員、自治体 クリックポスト185*32 レターパック360*1
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 1,511	¥ 18,489	封筒、コピー用紙、模造紙、コップ
	食糧費	¥ 1,000	¥ 440	¥ 560	水88*5(ゲスト登壇者用)
		対象経費の合計(D)	¥ 148,500	¥ 112,737	¥ 35,763
(対象外)経費	印刷費	¥ 0	¥ 1,500	¥ ▲1,500	(原稿、版下、手紙、資料)印刷費
	消耗品費	¥ 0	¥ 1,800	¥ ▲1,800	展示用パネル*2、ラベル
	交通費	¥ 3,000	¥ 4,000	¥ ▲1,000	会員の交通費
	備品	¥ 0	¥ 3,650	¥ ▲3,650	外付けDVDプレーヤー*1
	通信費	¥ 0	¥ 670	¥ ▲670	ゆうパックスマホ割*1
	食糧費	¥ 2,500	¥ 0	¥ 2,500	会員の昼食代
		その他経費の合計額(E)	¥ 5,500	¥ 11,620	¥ ▲6,120
	合計額(F) = (D+E)	¥ 154,000	¥ 124,357	¥ 29,643	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）額の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）額が、「対象経費（D）額の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 動物福祉団体いのち
 代表者氏名 代表 木村 悦子

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 24,357		
	事業収入	¥ 0	0円*48人	参加者48名(スタッフ6名)
	自己資金の合計額	¥ 24,357		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 124,357		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 5,000	5000*1回	カメラマン謝礼 加藤有紀氏 5000*1
	印刷費	¥ 6,420	6170*1回 250*1回	チラシ 片面カラーA4 3000部配布 アンケート 製版*2+印刷代 250部配布
	使用料及び賃借料	¥ 33,696	33696*1回	上映権使用料 50名まで 30000 400*3名追加 1200 + (税金2496)
		¥ 32,400	32400*1回	会場使用料 松戸市文化会館使用料*32400
		¥ 18,360	10800*1回 7560*1回	会場使用料 松戸市民劇場使用料*10800 音響/照明機材/暖房*7560
	通信費	¥ 14,910	14,910	切手代 8630 市議、病院、市民、自治体 クリックポスト185*32 レターパック 360*1
	消耗品費	¥ 1,511	1,511*1回	封筒、コピー用紙、模造紙、コップ
	食糧費	¥ 440	440*1回	ゲスト登壇者 水代88*5
	対象経費の合計	¥ 112,737		
その他 経費	印刷費	¥ 1,500	1,500	(原稿、版下、手紙、資料)印刷費
	消耗品費	¥ 1,800	1,800	展示用パネル*2、ラベル
	交通費	¥ 4,000		会員の交通費
	備品	¥ 3,650	3650*1回	外付けDVDプレーヤー*1
	通信費	¥ 670	670*1回	ゆうパックスマホ割*1
	その他経費の合計	¥ 11,620		
合計額		¥ 124,357		

音楽活動によるまちの活性化事業

松戸合唱まちづくり同好会

活動状況報告書

1 事業名称 音楽活動によるまちの活性化事業

2 実施主体

■ 団体名： 松戸合唱まちづくり同好会

従事者数： 35 名。

団体概要：

千葉県生涯大学校在校生やOBそして市民からなる合唱団です。

合唱を通じて福祉施設などでのボランティア活動を主にし、

更に発表会で地域との交流を実践して、まちの活性化を図っています。

講師指導の歌唱練習により部員相互の親睦と健康増進につながっています。

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください

ボランティア活動					
回数	実施日	曜日	場所	部員参加人数	お客様人数
1	4/16	月	そよ風	16	33
2	5/2	水	ソラスト新松戸	13	33
3	5/9	水	なでしこ矢切	15	35
4	5/14	月	なでしこ馬橋	16	25
5	6/19	火	栗ヶ沢デイホーム	19	23
6	6/25	月	わかば胡録台	14	12
7	7/11	水	なでしこ矢切	7	27
8	7/25	水	まんさくの里	21	100
9	8/6	月	ニッセイエデンの園	16	35
10	8/20	月	ひまわりの丘	22	45
11	9/16	日	サニーライフ	12	65
12	9/17	月	ソラスト新松戸	17	35
13	9/26	水	そよ風	15	39
14	11/27	火	エスケアステーション	13	50
15	12/10	月	生活クラブ風の村	13	20
16	12/17	月	あずみ苑高塚新田	11	50
17	1/14	月	秋桜ヴィレッジ古ヶ崎	15	20
18	3/13	水	松戸リハビリテーション病院	17	70
19	3/16	土	栗ヶ沢デイホーム	18	22
19回	計			290	739

発表会						
回数	実施日	曜日	内容	場所	部員参加人数	お客様人数
1回	7/15	日	第2回定期演奏会	矢切公民館ホール	21	148

定期演奏会

- ピアノ演奏 松本やすこ 武蔵野音楽大学声楽科卒業 東京二期会所属 オペラ歌手
混声合唱団「ロッソ・ヴィーヴォ」結成（100人超）で毎年演奏会を行う。
ゲスト出演で独唱をお願いした。
- ギター演奏 小用浩史 ギタリストで音響エンジニアでもある。
都内で主にギターソロ等ライブ活動を行う。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

◎ 計画時の事業の目的

地域の高齢者、福祉施設利用者（ご老人や体の不自由な人達）に
音楽活動を媒体にして元気と勇気を与える事を目的とする。

○ 達成状況

- 年間 19 回のボランティア活動と定期演奏会で目的は十分達成できた。
ほとんどの施設で 1 時間の持ち時間を頂戴して、合唱部の合唱（2～3 曲）
皆さんと歌おう（5～6 曲）パルーンアート 皆さんと歌おう（4～5 曲）
合唱部振付入り合唱（1～2 曲）の公演を行い、
非常に反応がよく多いに楽しんで頂いたことが実感できた。

(2) 事業課題の解決について

ボランティア	回数 年間目標	30 回	→実績	19 回 (63%)
	部員参加延べ人数目標	400 人	→実績	290 人 (73%)
	施設利用者参加延べ人数目標	800 人	→実績	739 人 (92%)
定期演奏会	入場者数目標	160 人	→実績	148 人 (93%)

回数 人数共 目標未達でした。要因は当初目標が高すぎたと反省しています。

ボランティア活動 19 回は、多忙な部員が協力してできた回数であり、
未達ですが満足しています。

定期演奏会入場者数は 第 1 回 125 人に比較すれば増加し、音楽による町の活性化が図れた。

5 今後の事業展開

自分達のできる範囲で地道に継続できる内容で実施したい。

今後もボランティア活動を継続し、施設利用者皆様に生きる喜びを感じて頂きたい。

- ① 新入部員の獲得
- ② 歌唱力・バルーンアート・簡単な曲の手話、習得
- ③ ボランティア時のピアノ演奏者対応（ピアノ演奏可能な部員、CD 対応等）
- ④ 部員間の和と健康維持

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 40,020	¥ 30,581	¥ 9,439	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 70,000	¥ 0	¥ 70,000	施設利用者から参加料を取らなかったため収入なし
		¥ 0	¥ 6,230	¥ ▲6,230	施設からの謝礼金
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 110,020	¥ 36,811	¥ 73,209	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 210,020	¥ 136,811	¥ 73,209	

【事業費の支出額（支出）】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 75,000	¥ 30,000	¥ 45,000	第2回定期演奏会
	消耗品費	¥ 21,000	¥ 40,656	¥ ▲19,656	ink代、用紙代 文具費 風船代
		¥ 15,000	¥ 3,672	¥ 11,328	舞台衣装 マイク用ケーブル
	印刷製本費	¥ 8,000	¥ 12,784	¥ ▲4,784	楽譜 チラシポスター 歌詞カード等
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 6,095	¥ 3,905	カラー印刷 (チラシポスター)
	機材運搬費	¥ 4,000	¥ 14,400	¥ ▲10,400	音響機器運搬費
	使用料及び賃借料	¥ 26,300	¥ 7,930	¥ 18,370	会場使用料
	通信費	¥ 2,000	¥ 0	¥ 2,000	連絡を郵送ではなくメール等で行ったため
	食糧費	¥ 2,220	¥ 2,380	¥ ▲160	定期演奏会 講師昼食代・お茶代 2名分
		対象経費の合計(D)	¥ 163,520	¥ 117,917	¥ 45,603
(その他対象外)	食料費	¥ 6,500	¥ 894	¥ 5,606	部員菓子代
	交通費	¥ 40,000	¥ 0	¥ 40,000	
	保管料		¥ 18,000	¥ ▲18,000	ボランティア用キーボード保管料
		その他経費の合計額 (E)	¥ 46,500	¥ 18,894	¥ 27,606
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 210,020	¥ 136,811	¥ 73,209	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 松戸合唱まちづくり同好会

代表者氏名

代表 鈴木孝侑

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 30,581		対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 0		施設利用者から参加料を取らなかったため
		¥ 6,230	1,230円 5,000円	施設からの謝礼金
	自己資金の合計額	¥ 36,811		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 136,811		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	25,000円 5,000円	定期演奏会 外部講師謝礼 講師名 松本やすこ25,000円 小用浩史5,000円
	消耗品費	¥ 40,656	13,751円 3,223円 14,482円 9,200円	ink代（カラー1、黒2） 用紙、模造紙他 文具費（バインダー他） 風船代他
		¥ 3,672	3,132円 540円	舞台衣装代 マイク用ケーブル代
	印刷製本費（白黒）	¥ 12,784	12,784円	楽譜 会議資料 歌集 定期演奏会プログラム 等
	印刷製本費（カラー）	¥ 6,095	6,095円	定期演奏会 ポスター100枚（A3）チラシ1,000枚（A4）
	機材運搬費	¥ 14,400	1,200円 * 12回	音響機器運搬費 @ ¥1,200
	使用料及び賃借料	¥ 7,930	7,930円	会場使用料18件 7,930円
	通信費	¥ 0		連絡を郵送ではなくメール等で行ったため
	食糧費	¥ 2,380	2,380円	定期演奏会 講師昼食代・お茶代 2名
	対象経費の合計	¥ 117,917		
その他経費	食料費	¥ 894	894円	部員用あめ
	交通費	¥ 0		
	保管料	¥ 18,000	2,000円 * 9ヶ月	ボランティア用音響機器保管料
	その他経費の合計	¥ 18,894		
合計額		¥ 136,811		

無塩パン普及事業

数値調理会

活動状況報告書

1 事業名称 無塩パン普及事業

2 実施主体

団体名 数値調理会

従事者数 5名

団体概要 家庭料理を数値化して先端的健康食を普及し
高齢化社会の健康維持に寄与する目的を持って、各種講演会の
開催および自らレシピの開発・配付を行うと共に、他者開発の
レシピを導入して、高齢者への配布を行っている。またサポー
トセンター調理室において、ほぼ毎月減塩パン試食会を実施し
て、減塩レシピの実効性確認と会員の親睦を図っている。

3 事業の実施内容

I 食育講演会の実施

日付	作業内容
5月11日	講演会日程・主題打ち合わせ
8月5日	講演会チラシ作成
8月29日	講演レジュメ印刷・ポスター印刷
9月8日	講演会実施 まつど市民活動サ ポートセンター大会議室 講師 東京聖栄大学 宮内 真弓 教 授 参加者18名

II 減塩パン試食・実演・制作会の実施(会場：まつど市民活動サポ
ートセンター)

日付	作業内容
4月13日	試食・実演・制作会チラシ作成
4月13日～20日	チラシ配付、レシピおよび食材準備
4月21日	#1試食・実演・制作会 参加者10名 レシピ配布
5月15日	#2試食・実演・制作会チラシ作成
5月18日～25日	チラシ配付、レシピおよび食材準備
5月26日	#2試食・実演・制作会 参加者13名 レシピ配布

日 付	作 業 内 容
6月17日～22日	レシピおよび食材準備
6月23日	#3 試食・実演・制作会 参加者11名 レシピ配布
6月30日	チラシ印刷7月用
7月15日～27日	レシピおよび食材準備
7月28日	台風のため試食会休み
8月25日	暑熱のため試食・実演・制作会休み
8月26日～9月7日	チラシ配付、広告、食材準備
9月8日	#4 試食・実演・制作会 参加者 16名 レシピ配布
9月27日	チラシ印刷
10月12日～10月26日	調理器具準備、食材準備
10月27日	#5 試食・実演・制作会 参加者 11名 レシピ配布
11月29日～12月1日	#6 試食・実演・制作会食材準備
12月2日	#6 試食・実演・制作会兼まつどみらい会議 食事処 講師にんじんクラブ 斉藤会長 参加者16名 レシピ配布
12月6日～12月8日	#7 試食・実演・制作会食材準備
12月8日	#7 試食・実演・制作会 参加者14名 レシピ配布
1月11日	新年予定を会員に連絡
1月20日～1月25日	#8 試食・実演・制作会食材準備
1月26日	#8 試食・実演・制作会 参加者20名 レシピ配布
2月21日	#9 試食・実演・制作会食材準備
2月23日	#9 試食・実演・制作会 参加者17名 レシピ配布

試食・実演・制作会参加128名

以上

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

無塩パン普及事業は健康食普及の一端として着手したものであり、特に高血圧対策として期待がある。2年間の減塩食普及の成果として、健康診断時血圧が15mmHG下がり、正常値内で生活できるようになった家庭がある。同時に無塩パンが毎日常食できることを実証している、無塩パン愛好者数がようやく5名、ホームベーカリの年間生産数は約300斤、減塩パン試食会参加者数は目標60名の2倍強に、事業収入も6万4千円に達し、当初予算を超えたが、無塩パン常食者拡大速度は遅い。

(2) 事業課題の解決について

無塩パンの製パン技術上の困難さが予想されたが、ホームベーカリの使用により、有塩/無塩の差は想定より小さく、若干の薬味添加で食感は解決した。(手こねでは差が大きい) 米粉添加を標準方式とし、少々高額だが生クリーム添加(80ml/斤)によりディップ不要の結論に達した。

食味の差を克服するためトースト食パンのディップ(塗るもの)試作の課題があった。オリーブオイル、ココナッツオイルをトースト前に塗る方式、クリームチーズ系や水切りヨーグルト系など多数試みたが、最終的に毎日常食するディップは無塩温泉玉子納豆(黄身のみ)に定着した。

団体活動の運営面は、試食会参加者に出入りがあるが差し引き漸増している。

5 今後の事業展開

健康効果が実感でき、減塩食普及の意欲が確保できた。今年は助成事業から独立した市民活動を継続する。参加費を200円値上げし、事業規模も縮小するが、「医食同源」論の同志を募り、団体規模を確保していきたい。実施面ではパン食という限定を取り払い、講演会や、ミイ会議参加、食べに行く隊創設など行事も多彩に行い、調理指導員への業務集中を避け、同時に素人調理指導員層を育成し、疲労感を払拭していく。参加者が固定して高齢者の集いの場としての機能を強化するため試食会とは別な懇談会の設置も行う。

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 22,073	¥ 1,692	¥ 20,381	対象外経費の一部を団体の会計より提出
	事業収入	¥ 48,000	¥ 64,000	¥ ▲16,000	試食会参加費9回分 500円×128名
	寄附金	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 80,073	¥ 65,692	¥ 14,381	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 180,073	¥ 165,692	¥ 14,381	

【事業費の支出額（支出）】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 15,000	¥ 17,400	¥ ▲2,400	外部講師謝礼 2名分	
	消耗品費(事務用品)	¥ 4,073	¥ 8,918	¥ ▲4,845	コピー用紙、ラベル用紙 他	
	消耗品費(調理用品)	¥ 35,900	¥ 14,390	¥ 21,510	マグネットフック、パン焼き器×3、ホットサンドメーカー、ミキサー、鍋	
	消耗品費(その他)	¥ 6,400	¥ 13,485	¥ ▲7,085	参考資料、アルミホイール、冷凍バック 他	
	食糧費	¥ 54,000	¥ 51,609	¥ 2,391		調理加工品、生鮮品等
	食糧費	¥ 9,900				
	印刷製本費	¥ 36,000	¥ 19,622	¥ 16,378	講演レジュメ、取扱説明冊子、チラシ	
	通信費	¥ 3,680	¥ 13,110	¥ ▲9,430	個人勧誘、参加者連絡の切手代	
	保険料	¥ 4,680	¥ 1,700	¥ 2,980	調理指導員検便代	
	使用料	¥ 4,440	¥ 1,910	¥ 2,530	サボセン調理室使用料、東部市民センター	
	対象経費の合計(D)		¥ 174,073	¥ 142,144	¥ 31,929	
(対象外)経費	消耗品費	¥ 0	¥ 2,242	¥ ▲2,242	トースター(領収書不備のため対象外経費に計上)	
	食糧費	¥ 0	¥ 15,581	¥ ▲15,581	試食会食料費(領収書不備のため対象外経費に計上)	
	食糧費	¥ 6,000	¥ 321	¥ 5,679	缶コーヒー	
	交通費	¥ 0	¥ 5,404	¥ ▲5,404	食材調達交通費、教授表敬訪問交通費	
	その他経費の合計額(E)	¥ 6,000	¥ 23,548	¥ ▲17,548		
合計額(F) = (D+E)		¥ 180,073	¥ 165,692	¥ 14,381		

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 数値調理会
 代表者氏名 会長 岩崎 滋

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 1,692		対象外経費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 64,000	500円×延べ128名	試食会参加費9回分
	寄附金	¥ 0		
	自己資金の合計額	¥ 65,692		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 165,692		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 17,400	15,000円 2400円	外部講師講演謝礼 東京聖栄大学 宮内教授、にんじんクラブ 斉藤会長
	消耗品費(事務用品)	¥ 8,918		コピー用紙、ラベル用紙 他
	消耗品費(調理用品)	¥ 14,390	(4,090+8,300+500+1,000+500)円	マグネットフック、パン焼き器×3、ホットサンドメーカー、ミキサー、鍋
	消耗品費(その他)	¥ 13,485		アルミホイル、冷凍保存パック 他
	食糧費	¥ 51,609		調理加工品、生鮮品等 (試食会9回分)
	印刷製本費	¥ 19,622		講演レジュメ 62部、取扱説明冊子 6部、チラシ 約9000部
	通信費	¥ 13,110		個人勧誘77通、参加者連絡72通の切手代 他
	保険料	¥ 1,700	(1,600+100)円×1名	調理指導員検便代 容器代100円を含む
	使用料	¥ 1,910	370円×4時間+430円	サポセン調理室使用料+東部市民センター
	対象経費の合計	¥ 142,144		
その他経費	消耗品費	¥ 2,242		トースター(領収書不備のため対象外経費に計上)
	食糧費	¥ 15,581		試食会食材費(領収書不備のため対象外経費に計上)
	食糧費	¥ 321		缶コーヒー
	交通費	¥ 5,404		食材調達交通費、教授表敬訪問交通費
	その他経費の合計	¥ 23,548		
合計額		¥ 165,692		

子供の居場所からの発信による
地域ネットワーク構築事業

さくら広場の会

活動状況報告書

1 事業名称 子供の居場所からの発信による地域ネットワーク構築事業

2 実施主体

■ 団体名：さくら広場の会

従事者数：7名

団体概要：

子供の居場所づくりに関する活動（事業）を行うことにより、子供の健全な育成・地域との連携を目的としています。

(1) 子供たちの居場所づくりの為に宿題寺小屋（学習支援）を行う。団体所在地において、平日は毎日子供たちを受け入れ、宿題をしたり読書をしたりして思い思いの時間が過ごせるようにしています。

(2) 想像力・可能性を広げる為のワークショップや子供食堂を行う。

3 事業の実施内容

(1) 交流の為にきっかけ作り事業（健康体操教室）

日付	作業内容
4月2日	事業企画打ち合わせ
4月6日	市の広報誌掲載依頼（6月1日号）
5月7日～10日	チラシの作成（第1回分）
5月14日	チラシの印刷（第1回分）
5月15日～18日	チラシのPR活動（第1回分）
6月19日	第1回体操教室実施 講師 ダンススタジオ Happy Smile Company 代表 中村彩氏 参加者5名
6月27日	事業企画打ち合わせ
7月17日～20日	チラシの作成（第2回分）
7月31日	チラシの印刷（第2回分）
8月14日	市の広報誌掲載依頼（10月1日号）
9月11日～13日	チラシのPR活動（第2回分）
10月24日	第2回体操教室実施 講師 認知症予防歌体操研究所認定講師・民謡歌手 坂倉由起子氏 参加者5名
2月13日	第3回歌声喫茶 講師 認知症予防歌体操研究所認定講師・民謡歌手 坂倉由起子氏 参加者4名

(2) ものづくりを通じて交流を図る事業

-1 工作教室①

日 付	作 業 内 容
4月2日	事業年間計画についての打ち合わせ
5月9日	第1回工作教室①（ベアパターン作り）の実施参加者10名
6月6日	第2回工作教室①（プラモデル教室）の実施参加者9名
8月29日	第3回工作教室①（プラモデル教室）の実施参加者13名
9月13日	第4回工作教室①（ベアパターン作り）実施 参加者8名
10月24日	第5回工作教室①（プラモデル教室）の実施参加者11名
11月8日	第6回工作教室①（ベアパターン作り）実施 参加者7名
1月5日	第7回工作教室①（書初め）実施 参加者9名
2月14日	第8回工作教室①（巾着作り）参加者10名

-2 工作教室②

日 付	作 業 内 容
4月2日	事業年間計画についての打ち合わせ
7月2日～5日	チラシの作成・印刷・PR活動（陶芸教室分）
7月27日	第1回工作教室②（陶芸教室）実施 講師 陶芸家中村香織 参加者10名
2月12日～15日	チラシの作成・印刷・PR活動（金繕いWS分）
3月9日	第2回工作教室（金繕いと水引ワークショップ）実施 講師 陶芸家中村香織 参加者10名

-3 地域をまきこんだ食育活動（地域食堂）

日 付	作 業 内 容
4月2日	事業年間計画についての打ち合わせ
10月22日	中華食堂 ゆうえんさんを実施のお願いで訪問
10月24日～29日	チラシの作成・印刷・PR活動
11月17日	第1回地域食堂実施 協力 ゆうえん 参加者25名
3月15日	第2回地域食堂実施 協力 ゆうえん 参加者25名

(3) 自然エネルギーと環境のワークショップ

日 付	作 業 内 容
4月2日	事業年間計画についての打ち合わせ
6月12日～15日	チラシの作成・印刷・PR活動
7月29日	自然エネルギーと環境のワークショップ実施 講師 足利 大学特任教授/風力エネルギー学会副会長 永尾 徹 参加者 16名

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

本事業で健康体操や地域食堂を行ったことで、今まで「さくら広場」に来るきっかけのなかった地域の方（特に高齢者）にさくら広場に来ていただくことが出来ました。新しく来てくださった地域の方が子ども達やその保護者と地域のこと・子育てについて話をする事が出来、顔が見えるお付き合いの一步を踏み出せました。

ものづくりを通じての交流事業では、プラモデルが得意な地域の大人が教えにきてくださり、自然な形で子ども達と交流することが出来ました。子ども達にとっては決まった大人だけでなく色々な方と接することでコミュニケーションの幅が広がりました。地域の方にとっては新しい居場所として活用していただき双方にとってよい結果になりました。

体操教室 目標 2回開催、参加者30人→結果 3回開催、参加者14人

工作教室 目標 10回開催、参加者100人→結果 10回開催、参加者97人

食育活動 目標 2回開催、参加者50人→結果 2回開催、参加者50人

自然エネルギーと環境の勉強会 目標 1回開催、参加者20人→結果 1回開催、参加者16人

体操教室以外は目標人数にほぼ達することが出来ました。

(2) 事業課題の解決について

子どもの居場所としての「さくら広場」だけでなく、地域住民のふれあいの場所としての「さくら広場」になれるよう発信や活動を行ったことで、今までなかったネットワークを構築することが出来ました。

具体的には、地域の自治会館「根本倶楽部」さんや根本町内連合会会長さんにチラシをお願いしたことがきっかけで交流を深めました。

体操教室の参加者としては、目標人数に届きませんでしたが、少ない人数ながらも交流を深めることが出来ました。

5 今後の事業展開

本事業でいただけたきっかけをさらに深めていけるように、自主的な地域食堂・ワークショップを開催していく。

またさくら広場内で自家焙煎のコーヒー豆を販売して、本事業のテーマ（課題）を解決していくことを計画しています。

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 9,000	¥ 1,856	¥ 7,144	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 30,000	¥ 29,100	¥ 900	300円（工作教室参加料）*97人（延べ人数）
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額（A）	¥ 39,000	¥ 30,956	¥ 8,044	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額（C）=（A+B）	¥ 139,000	¥ 130,956	¥ 8,044	

【事業費の支出額（支出）】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 55,000	¥ 60,000	¥ ▲5,000	外部講師謝礼 10,000円*3回（体操教室/工作） 5,000円*2回（体操教室） 20,000円*1回（環境WS）
	消耗品費	¥ 20,540	¥ 11,465	¥ 9,075	プラモデル教室用 ニッパー・接着剤・塗料・塗料皿など
		¥ 10,000	¥ 12,294	¥ ▲2,294	陶芸教室、金継ぎワークショップ材料費
		¥ 0	¥ 9,006	¥ ▲9,006	プリンターインク代、紙代 自分で印刷した為
	食糧費	¥ 3,000	¥ 0	¥ 3,000	体操教室のお茶代 持ち寄った為計上なし
		¥ 20,000	¥ 20,351	¥ ▲351	地域食堂補填材料費
	印刷製本費	¥ 12,500	¥ 0	¥ 12,500	自分で印刷した為計上なし
		¥ 1,000	¥ 0	¥ 1,000	自分で印刷した為計上なし
	使用料及び賃借料	¥ 2,000	¥ 2,000	¥ 0	会場使用料
		対象経費の合計（D）	¥ 124,040	¥ 115,116	¥ 8,924
（その他）経費	交通費	¥ 14,960	¥ 15,840	¥ ▲880	会員の交通費 440円（往復）*2人*18回
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額（E）	¥ 14,960	¥ 15,840	¥ ▲880	
	合計額（F）=（D+E）	¥ 139,000	¥ 130,956	¥ 8,044	

【チェック項目】うつつ

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）欄の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）欄が、「対象経費（D）欄の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥0
-----	----

団体名 さくら広場の会

代表者氏名 会長 二村 崇園

【事業費の収入額】

科目		金額	内 訳	摘 要
団体	団体拠出金	¥ 1,856		
	事業収入	¥ 29,100	300円×97人	300円（工作教室参加料）×97人
	自己資金の合計額	¥ 30,956		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 130,956		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	10,000円×1回	第1回体操教室実施 講師名 中村彩氏 10,000円×1回
			5,000円×1回	第2回体操教室実施 講師名 坂倉 由起子氏 5,000円×1回
			5,000円×1回	第3回体操教室実施 講師名 坂倉 由起子氏 5,000円×1回
			10,000円×1回	第1回工作教室実施 講師名 中村 香織氏 10,000円×1回
			10,000円×1回	第2回工作教室実施 講師名 中村 香織氏 10,000円×1回
			20,000円×1回	自然エネルギーと環境のワークショップ 講師名 永尾徹氏 20,000円×1回
	消耗品費	¥ 11,465	11,465円×1式	プラモデル教室用 ニッパー・接着剤・塗料・プラモデル
		¥ 12,294	12,294円×1式	陶芸教室、金継ぎワークショップ材料費
		¥ 9,006	9,006円×1式	プリンターインク代、紙代 自分で印刷した為
	食糧費	¥ 20,351	9,363円×1回 10,988円×1回	地域食堂補填材料費
	使用料及び賃借料	¥ 2,000	1,000円（2時間）	第1回体操教室 会場使用料
			1,000円（3時間）	第1回工作教室（陶芸教室）会場使用料
	対象経費の合計	¥ 115,116		
その他経費	交通費	¥ 15,840	440円（往復） ×2人×18回	440円（往復）×2人×18回
	その他経費の合計	¥ 15,840		
合 計 額		¥ 130,956		

シニア世代生き生き地域資源
マップ作り事業

ほっとする街を考える会 k i n a r i

活動状況報告書

1 事業名称 シニア世代生き生き地域資源マップ作り事業

2 実施主体

■ 団体名： ほっとする街を考える会 kinari

従事者数： 5名

団体概要：

大人も子どもも高齢者も障害のある人も、みんなが自分らしく暮らせる街を実現するために、地域住民や他の団体との連携を通して地域のコミュニケーションのハブ・拠点作りに貢献することを目的として活動しています。

地域の居場所・情報発信の場として毎週土曜・日曜の10:00～16:00までサロンを開催しています。

3 事業の実施内容

I 第1回マップ作りイベントの実施

日付	作業内容
4月14日	事業企画打ち合わせ
5月 日	チラシの企画及び作成
5月10日	チラシの印刷(300部)
5月10日～6月	チラシのPR活動(まつど市民活動サポートセンター、常盤平支所、市民センター(常盤平、八柱、六実・五香)、常盤平老人福祉センター等へのチラシ配架、ポスティング)、facebook
6月 9日	イベント準備(最終打合せ・買出し)
6月10日	第1回イベント：地域の情報交換&会食会開催 10名参加 開催場所：コミュニティカフェ ChoshiYa

II 第2回マップ作りイベントの実施

日付	作業内容
6月10日	第2回イベント企画打ち合わせ
7月1日	
9月10日～12日	チラシの企画及び作成・印刷
9月13日～10月15日	チラシ&団体パンフレットポスティング(500部) 五香駅周辺から金ヶ作中学校付近を中心に配布、facebook
10月14日	イベント準備・買出し
10月20日	第2回イベント：地域の情報交換&茶話会開催 15名参加 開催場所：コミュニティカフェ ChoshiYa

Ⅲ 第3回マップ作りイベントの実施

日 付	作 業 内 容
10月20日 11月17日	第3回イベント企画打ち合わせ
11月10日～12日	チラシの企画及び作成、印刷
11月13日～12月20日	チラシ・団体パンフレットのポスティング（300部） 金ヶ作の一軒家、アパートを中心に配布
12月22日	第3回イベント：地域の情報交換&茶話会開催 16名参加 開催場所：コミュニティカフェ ChoshiYa

Ⅳ 第4回マップ作りイベント及びマップ印刷の実施

日 付	作 業 内 容
2月17日	第4回イベント企画・マップ最終稿作成打ち合わせ
2月9～10日	チラシの企画及び作成・印刷
2月11日～	第1回～第3回イベント参加者へ第4回イベント案内配布
2月20～3月9日	マップ最終稿作成作業
3月17日	第4回イベント：マップ最終稿確認&茶話会開催 8名参加 開催場所：コミュニティカフェ ChoshiYa
3月18～26日	マップ最終稿修正作業
3月27日	マップ原稿入稿
3月31日	マップ完成・配布開始

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ・金ヶ作地区の地域資源（現にある資源）が確認出来た。
- ・イベントは4回開催し延べ49名の参加があり、目標の合計45人以上を達成できた。
- ・参加者と地域資源を確認し、ニーズの把握や地域資源の見える化ができた。
- ・住民の顔が見える関係作りのきっかけとなり、日常的な挨拶や言葉掛けをする関係ができた。

(2) 事業課題の解決について

- ・ 現にある地域資源の確認、ニーズ把握ができた。
- ・ 古くから住む住民と新しく転入した住民との交流の機会となった。
- ・ 顔の見える関係作りのきっかけになった。
- ・ 地域に現にある社会資源をある程度把握できた。今後、古くから住む住民と新しく転入してきた住民が地域課題を共有するためのベースとしていきたい。

5 今後の事業展開

- ・ 作成したマップを社会福祉協議会や地域包括支援センターに配布し、高齢者が外へ出るきっかけとして活用してもらおう。
- ・ マップを基に情報発信をしていくと共に、情報収集を継続して行い地域の情報交換の場・顔の見える関係を広げていく場として地域のハブ・拠点としての役割を担えるよう活動していく。
- ・ イベント開催の中で参加者から防災に対する地域の取組が薄いとの意見が出されたことを踏まえ、今後は地域の防災対策を住民目線で考えていくきっかけとしていく。

収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 8,250	¥ 11,030	¥ ▲2,780	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 13,500	¥ 12,000	¥ 1,500	300円*40人（参加料）
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額（A）	¥ 21,750	¥ 23,030	¥ ▲1,280	
市	市民活動助成金（B）	¥ 58,000	¥ 58,000	¥ 0	←精算額
	合計額（C）=（A+B）	¥ 79,750	¥ 81,030	¥ ▲1,280	

【事業費の支出額（支出）】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 6,800	¥ 19,081	¥ ▲12,281	コピー用紙、インク代、紙皿
	食糧費	¥ 9,000	¥ 13,519	¥ ▲4,519	イベント茶菓子・お茶代
	印刷製本費	¥ 40,000	¥ 23,430	¥ 16,570	パンフレット、マップ印刷代
	使用料	¥ 8,700	¥ 13,800	¥ ▲5,100	会場使用料 300円*3時間*4回 300円*2時間*2回 300円*6時間*5回
	保険料	¥ 4,050	¥ 0	¥ 4,050	体験会中止のため
		対象経費の合計(D)	¥ 68,550	¥ 69,830	¥ ▲1,280
（その他経費）	交通費	¥ 11,200	¥ 11,200	¥ 0	会員の交通費 400円（往復）*4人*7回
				¥ 0	
				¥ 0	
		その他経費の合計額（E）	¥ 11,200	¥ 11,200	¥ 0
	合計額（F）=（D+E）	¥ 79,750	¥ 81,030	¥ ▲1,280	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）額の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）額が、「対象経費（D）額の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 ほっとする街を考える会Kinari

代表者氏名 代表 堀井 美奈子

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体拠出金	¥ 11,030		
	事業収入	¥ 12,000	300円 * 40人	第1回参加者10名 第2回参加者15名 (内3名ボランティア参加) 第3回参加者16名 (内3名ボランティア参加) 第4回参加者8名 (内3名ボランティア参加)
	自己資金の合計額	¥ 23,030		
市	市民活動助成金	¥ 58,000		
合 計 額		¥ 81,030		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 19,081	6,290円 998円 8,640円	チラシ印刷用インク代 マップ原稿作成用紙A3(500)
			2,937円 216円	チラシ印刷用紙A4(500×10) 紙皿
	食糧費	¥ 13,519	3,146円 2,100円 4,346円 3,927円	第1回イベント茶菓子、お茶 第2回イベント茶菓子、お茶 第3回イベント茶菓子、お茶 第4回イベント茶菓子、お茶
	印刷製本費	¥ 23,430	15950円	マップ印刷代 (3,000枚)
			7480円	パンフレット印刷代 (3,500枚)
	使用料	¥ 13,800	300円 * 3時間 * 4回 300円 * 2時間 * 2回 300円 * 6時間 * 5回	会場使用料 コミュニティカフェChoshiYa
	保険料	¥ 0		体験会中止のため
対象経費の合計		¥ 69,830		
その他経費	交通費	¥ 11,200	400円 * 4人 * 7回	会員の交通費
	その他経費の合計	¥ 11,200		
合 計 額		¥ 81,030		

「笑顔のお節介推進活動」事業

介護・認知症の家族と歩む会・松戸

活動状況報告書

1 事業名称 「笑顔のお節介推進活動」 事業

2 実施主体

■ 団体名： 介護・認知症の家族と歩む会・松戸

従事者数： 5名 講師2名

団体概要： 超少子高齢社会の解消されることの無い、認知症や介護の不安軽減を目指して活動し、積極的に身近で支える人の必要性、より地域に密着して、アピールしてきました。地域で笑顔で安心して暮らし続けられる課題として、互助の復活を願い、認知症講座・地域パートナー講座・おしゃべり広場・地域交流会・訪問相談・公開相談を実施、更に周辺市の団体・事業所等の協力を得、フォーラムを実施しています。

3 事業の実施内容

I) おしゃべり広場 実施

日 付	作 業 内 容
4月1日	事業企画打ち合わせ
	チラシの企画及び作成
	チラシ・ハガキ・の印刷 毎月不定期に配布
4月6日	新松戸市民活動サポートコーナー 世話人2人 参加者4人
5月8日	同上 世話人3人 参加者1人
6月2日	同上 世話人2人 参加者2人
7月17日	同上 世話人3人 参加者3人
8月14日	同上 世話人2人 参加者1人
9月11日	同上 世話人3人 参加者3人
10月9日	同上 世話人4人 参加者4人
11月13日	同上 世話人3人 参加者7人
12月11日	同上 世話人3人 参加者7人
2月12日	まつど市民活動サポートセンター 世話人2人 参加者3人
3月12日	同上 世話人3人 参加者4人
	11回 世話人30人 参加者39人

Ⅱ) 地域パートナー講座の実施

日 付	作 業 内 容		
5月1日～5日	講座企画打ち合わせ		
5月1日～5日	チラシの企画及び作成		
	チラシ・ハガキ等の印刷		
	市の広報掲載依頼		
6月8日	聖徳大学	世話人2人	参加者5人
8月14日	明市民センター	世話人2人	参加者2人
9月10日	明市民センター	世話人2+1人	参加者26人
		講師・大久保彰	
21日	聖徳大学	世話人2人	参加者7人
26日	明市民センター	世話人2人	参加者14人
10月9日	明市民センター	世話人2+1人	参加者12人
		講師・山本千鶴子	
11月13日	馬橋東市民センター	世話人2+1人	参加者8人
		講師・山本千鶴子	
12月11日	稔台市民センター	世話人2人	参加者0人
2月12日	明市民センター	世話人2人	参加者6人
	9回	世話人18+3人	参加者80人 (参加費徴収74人)
	NPO 成年後見なのはな 大久保彰 高齢者ハンドセラピスト養成教室 山本千鶴子		

Ⅲ) 公開相談 実施

日 付	作 業 内 容		
4月1日～	事業企画打ち合わせ		
4月5日～10日	チラシ・ハガキ企画及び作成		
4月11日	チラシ・ハガキの印刷 配布		
5月10日	スターバックストアトレア松戸	世話人2人	参加者3人・1家族
7月16日	ココス馬橋	世話人2人	参加者3人・1家族
8月2日	サイゼリア主水新田	世話人2人	参加者3人・2家族
10月12日	サイゼリア北松戸	世話人2人	参加者2人・1家族
11月9日	ココス馬橋	世話人2人	参加者2人・1家族
	5回	世話人10人	参加者13人・6家族

IV) 訪問相談 実施

日 付	作 業 内 容		
4月1日～2日	事業企画打ち合わせ		
	チラシの企画及び作成		
4月2日	チラシの印刷 配布開始 毎月		
4月17日	ソフィア松戸	世話人3人	参加者7人・3家族
5月29日	小金原コーポラス	世話人2人	参加者4人・3家族
6月10日	ファミリーユ五香	世話人2人	参加者2人・1家族
28日	中央パークハイツ	世話人2+1人	参加者8人・5家族 講師・大久保彰
7月7日	日神プラスステージ松戸	世話人2+2人	参加者11人・5家族 講師・大久保彰・山本千鶴子
22日	イーストパーク胡録台	世話人2人	参加者4人・1家族
8月10日	ライオンズプラザ中央公園	世話人2人	参加者4人・2家族
31日	ソフィア松戸	世話人2+1人	参加者4人・2家族 講師・山本千鶴子
9月8日	サーバス常盤平公園通	世話人2人	参加者5人・1家族
14日	常盤平ハイツ	世話人2人	参加者2人・2家族
10月12日	ベルピア北松戸	世話人2人	参加者4人・3家族
24日	松戸グリーンコーポ	世話人2人	参加者5人・3家族
	小金原団地	世話人2人	参加者3人・1家族
	ミキハイム国府台壱番館	世話人2人	参加者6人・1家族
11月28日	六高台サンハイツ	世話人2人	参加者4人・2家族
11月30日	ヴェルデゾーナ新八柱	世話人2人	参加者3人・1家族
1月28日	ファミリーユ五香	世話人3人	参加者6人・2家族
2月24日	常盤平サンハイツ	世話人2人	参加者5人・3家族
3月16日	六高台サンハイツ	世話人2人	参加者4人・1家族
	19回	世話人40+4人	参加者91人・42家族
	NPO 成年後見なのはな 大久保彰		
	高齢者ハンドセラピスト養成教室 山本千鶴子		
	個人・戸建	22軒	44人

V) 認知症講座実施

日 付	作 業 内 容
4月1日～10日	事業企画打ち合わせ
	チラシの企画及び作成
4月10日	チラシ・ハガキ・ポスターの印刷
4月15日	ポスティング 毎回 実施日 30日前
5月8日	八ヶ崎市民センター 世話人2人 参加者6人
6月12日	馬橋東市民センター 世話人2+2人 参加者9人 講師・大久保彰・山本千鶴子
7月17日	稔台市民センター 世話人2人 参加者9人
1月15日	八ヶ崎市民センター 世話人2人 参加者6人
2月13日	パレット柏 世話人3人 参加者19人
2月27日	パレット柏
3月12日	(認知症バーチャル疑似体験) 世話人3人 参加者25人 馬橋東市民センター 世話人2人 参加者8人
	7回 世話人16+2人 参加者82人 NPO 成年後見なのはな 大久保彰 高齢者ハンドセラピスト養成教室 山本千鶴子

VI) 地域交流会 実施

日 付	作 業 内 容
4月1日	講座企画打ち合わせ
	チラシの企画及び作成
	ハガキの印刷・発送
4月4日	三世院 世話人2人 参加者4人
5月15日	イオン北小金 世話人2人 参加者4人
6月22日	イオン北小金 世話人2人 参加者8人
7月10日	ココス馬橋店 世話人2人 参加者3人
8月18日	三世院 世話人2人 参加者6人
8月24日	サイゼリア八柱 世話人2人 参加者4人
1月26日	三世院 世話人2人 参加者7人
	7回 世話人14人 参加者36人

Ⅶ) 地域フォーラム実施

日 付	作 業 内 容
7月1日～5日	講座企画打ち合わせ
7月1日～15日	チラシの企画及び作成
8月20日	チラシ・ポスターの印刷
9月1日	配布
10月3日	地域パートナー養成 パレット柏 世話人7人 参加者42人
10月16日	地域パートナー養成 同上 世話人5+1人 参加者44人 講師・大久保彰
11月1日	地域パートナー養成 同上 世話人6+1人 参加者45人 講師・山本千鶴子
11月15日	地域パートナー養成 同上 世話人5人 参加者51人
	4回 世話人23+2人 参加者182人 参加者内訳(松戸41人、柏62人、流山24人、他55人) NPO 成年後見なのはな 大久保彰 高齢者ハンドセラピスト養成教室 山本千鶴子
12月8日	福祉フォーラム パレット柏 世話人16人 参加者720人
3月13日	市民活動立ち上げセミナー 世話人3人 参加者18人
3月27日	市民活動立ち上げセミナー 世話人3人 参加者18人

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

「おしゃべり広場」については、当初の目標、参加者累計60人でしたが、39人でした。実施回数についても、目標12回のところを11回実施でした。開催はほぼ目標通りでした。

「地域交流会」と「おしゃべり広場」を同じ会場での開催を想定しましたが、急遽、分けて開催し、参加者は、介護中の方が中心でした。

「認知症講座」～当事者及び在宅での介護中の家族への情報提供～6回、累計90人が目標でしたが、7回開催し、累計82名の参加者でした。

周囲の人を中心とし、介護家族を支える、チョットとお節介な仲間づくり「地域パートナー講座」を増やしました。理由は介護度が重い人のご相談・問合せが多くなり、方向を変えました。チラシ・ハガキ等のご案内に対しての、問い合わせが多くなりました。(毎月のハガキ・ポスティング等の効果かと思えます)講座以上に、周囲の人に知られる恐れ、家族で抱え込んでいた悩みを打ち明ける「訪問相談」が多くなりました。集合住宅以外にも、22軒の一戸建て個人宅訪問相談もあり、計画以上の達成と自己評価しています。外に出る機会を増やすことを意図した、ファミリーレストラン等での「公開相談会」「地域交流会」にも繋がりました。

「地域フォーラム」には周辺地域も含めた、個人・グループで活動中の方々や地域活動に関心の強い方々の繋がりを推進中です。

ワークショップの参加者(講座)も80人と目標を上回る事ができました。

積極的に地域の方々に声掛けなど不安や悩みを抱える人の声を聞き「地域のつなぎ役」地域パートナーも新たに7人(松戸在住)と周辺市5人できました。

2) 事業課題の解決について

認知症を病気として、正しく理解してもらう「認知症講座」は講座のほかに、訪問相談・公開相談等を通じ情報の提供と理解を深める事に寄与できたと90%の達成率と自己評価しています。

身近に居て、介護家族の悩み・苦しみを共感して支える「チョットお節介な友達づくり」「地域パートナー」講座の参加者は74人と少ないですが、個人・団体の一員として参加し、公開・訪問相談の窓口・世話役的役割を担っていただける方も数名出来ました。フォーラム等のチラシ等ポスティングの先頭に立って活動する方も出来ました。「地域パートナー」づくり関連も90%の評価をしたいと思います。地域づくりの入り口になる「おしゃべり広場」再生の準備も完了し、スタートしました。

「地域交流」お茶を飲みながら、身近な話題を話し合いながら「友達」に、計画しましたが充分地域にPR出来ませんでした。

5 今後の事業展開

理想形は、ここで出会った、人同士で情報交換出来たらと考えますが、個人の重い情報も多く簡単には、拡げられません。

最大の課題は、このレベルの方々に、認知症疑似体験（バーチャル）講習を計画中です。

「おしゃべり広場」については、PR不足と会場の設定ミスです。平成31年度はオープンスペースの会場等を交渉中です。大きな反省点です。

「訪問相談」的活動は、地域パートナー的な人が、身近に居て、交流が出来ていれば、初期の段階で対応可能だったのではと、感じることも多く有りました。そのために、フォーラムで多くの仲間に声を掛け開催、更に輪を拡げていきます。地域・ボランティア・市民活動に関心のある人に。各種団体に、企業に声を掛け。同時に異業種交流会等にも呼び掛け、従来の福祉の概念にとらわれず「地域で笑顔で暮す」をアピールしていきます。

平成30年度 収支決算書

【事業費収入額（収入）】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	会費	¥ 10,000	¥ 12,000	¥ ▲2,000	1000円×12人
	協賛金	¥ 20,000	¥ 32,647	¥ ▲12,647	フリーマーケット売り上げ等より
	事業収入	¥ 35,000	¥ 37,000	¥ ▲2,000	参加費500円×74人
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 65,000	¥ 81,647	¥ ▲16,647	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 200,000	¥ 200,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 265,000	¥ 281,647	¥ ▲16,647	

【事業費の支出額（支出）】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 54,000	¥ 45,000	¥ 9,000	3000円×6回 5000円×3回 6000円×2回
	印刷製本費	¥ 40,000	¥ 42,280	¥ ▲2,280	チラシ・ポスター/カラー他
	消耗品費	¥ 27,000	¥ 33,495	¥ ▲6,495	コピー用紙A4・A3 インク他
	通信費	¥ 62,800	¥ 93,300	¥ ▲30,500	ハガキ970枚 切手400枚 定形外3通
	委託費	¥ 48,000	¥ 48,740	¥ ▲740	新聞折り込み等13回
	使用料	¥ 24,000	¥ 0	¥ 24,000	公用にて使用したため支出せず
	食糧費	¥ 9,200	¥ 13,000	¥ ▲3,800	薬草茶他
				¥ 0	
対象経費の合計 (D)		¥ 265,000	¥ 275,815	¥ ▲10,815	
(その他 対象外) 経費	委託費	¥ 0	¥ 5,832	¥ ▲5,832	新聞折り込み等2回 (領収書不備)
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 5,832	¥ ▲5,832	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 265,000	¥ 281,647	¥ ▲16,647	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 介護・認知症の家族と歩む会・松戸

代表者氏名 世話人代表 北川 邦彦

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	会費	¥ 12,000	1000円×12人	支援会員
	協賛金	¥ 32,647		フリーマーケット売り上げ等より
	事業収入	¥ 37,000	500円×74人	参加費(地域パートナー講座)有料参加者
	自己資金の合計額	¥ 81,647		
市	市民活動助成金	¥ 200,000		
合 計 額		¥ 281,647		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 45,000	3,000円×6回 5,000円×3回 6,000円×2回	NPO成年後見なのはな 大久保彰 高齢者ハンドセラピスト養成教室 山本千鶴子
	印刷製本費	¥ 42,280	9,060円 他	チラシ・ポスター・資料・ハガキ等/カ ラー他 チラシ15000枚・ハガキ900枚 他
	消耗品費	¥ 33,495	5,977円 他	コピー用紙A4白22包・カラー8包他 インク11本 その他文具用品 他
	通信費	¥ 93,300	62円×970枚 82円×400枚 120円×3通	講座等案内他 ハガキ970枚 切手400枚 定形外郵便3通
	委託費	¥ 48,740	3,996円×3 3,672円×2 2,916円×3 1,998円×2 5,832円×2 5,000円×1	新聞折り込み等13回
	使用料	¥ 0		公用にて使用したため支出せず
	食糧費	¥ 13,000	7,000円 他	ビワの葉茶・ヨモギ茶・柿の葉茶など(お しゃべり広場参加者用)
	対象経費の合計	¥ 275,815		
そ の 他 経 費	委託費	¥ 5,832	2,916円×2	新聞折り込み等2回(領収書不備)
	その他経費の合計	¥ 5,832		
	合 計 額	¥ 281,647		